

会 議 録

会議の名称		令和4年度（2022年度）第1回つくば市学校防災推進委員会		
開催日時		令和4年（2022年）6月27日（月曜日） 開会15：30 閉会17：00		
開催場所		防災会議室3		
事務局（担当課）		教育総務課、学び推進課		
出席者	委員	森田充会長、吉沼正美副会長、栗山賢司副会長、飯泉法男委員、久保田靖彦委員、中野真粧美委員、中野桂子委員、鬼塚宏一委員、水橋光一委員、荒澤浩俊委員、吉田和敏委員、笹本昌伸委員、岡田太郎委員、下田裕久委員、柳町優子委員、鈴木聡委員、石橋充委員、中島澄枝委員、澤頭由紀子委員、古平恒雄委員（市PTA連絡協議会長代理出席）		
	その他	長屋和宏		
	事務局	教育総務課：課長補佐 山岡めぐみ、係長 青木孝之、主任 谷沢潤一郎、主任 佐藤大樹		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0名
非公開の場合はその理由				
議題		(1) 学校防災推進委員会の概要について (2) 令和3年度（2021年度）学校防災事業について (3) 令和4年度（2022年度）学校防災事業計画について (4) 学校防災手帳の概要について (5) 学校防災体制の推進について		
会議録署名人			確定年月日	平成 年 月 日
会議次	(1) 学校防災推進委員会の概要について (2) 令和3年度（2021年度）学校防災事業について (3) 令和4年度（2022年度）学校防災事業計画について (4) 学校防災手帳の概要について			

< 審議内容 >

1 開会

事務局：本日はお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。会議に先立ちまして、幾つかご連絡をさせていただきます。

本日の会議は、新型コロナウイルス感染症の感染防止配慮しつつ、開催させていただきます。また、つくば市附属機関の会議及び懇談会等の公開に関する条例に基づきまして、傍聴席を設け、会議を公開するとともに、会議録を作成し、後日、つくば市のホームページに公表いたします。どうぞよろしく願いいたします。それでは、ただいまから令和4年度第1回つくば市学校防災推進委員会を開会いたします。はじめに、教育長から御挨拶申し上げます。よろしく願いいたします。

2 会長挨拶

教育長：皆さん、改めましてこんにちは。大変お忙しい中、皆様には令和4年度第1回つくば市学校防災推進委員会にお集まりいただきましてありがとうございます。この会は、地域との連携による学校の防災力強化推進事業の一環として開催されるものです。

今日も本当に暑い中で、この異常気象ということもありますし、このままでは水不足になることもあるかもしれません。そうかと思えば、大きな台風でものすごい雨が降るということもありますし、先日は石川県の珠洲市で震度6弱の地震、そして、昨日は熊本で震度5弱の地震と、地震も頻発している状況で、災害について大変心配されている状況かと思えます。児童生徒の安全のためには、いざという時に助け合って動けるような助け合いの精神、防災力を高めておくことが必要だと考えています。教育局としては、地域との連携による学校の防災力強化を推進するため、引き続き支援体制の充実を図っていきます。関係各課及び各学校においても、御協力をお願いしたいと思います。今日は、そのために様々な話ができればと思います

ので、どうぞよろしくお願ひいたします。

3 議事

事務局：ありがとうございました。つくば市学校防災推進委員会設置要綱第3条第1項及び第2項に基づきまして、これからの議事の進行は会長である教育長にお願ひいたします。

会長：それでは議長を務めさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。議事が(1)から(5)までありますが、この順にしたがって進めさせていただきたいと思ひます。では最初に、(1)の学校防災推進委員会の概要について、事務局から説明をお願ひします。

(1) 学校防災推進委員会の概要について

事務局：事務局担当、教育総務課谷沢です。本日はよろしくお願ひいたします。(1)学校防災推進委員会の概要について説明いたします。資料1をご覧ください。

平成24年度から平成27年度までは、茨城県教育委員会が、地域との連携による学校の防災力強化推進事業を実施し、各市町村では県からの委託事業という形で実施しておりました。この事業が所期の目的である、各市町村における組織体制づくりが進んだということで、茨城県の事業としては平成27年度で終了となりました。しかし、つくば市においては、児童生徒の命を守る重要な事業であるため、平成28年度以降も引き続き実施するということが市単独で実施しております。

まず、本事業の目的となります。

大規模地震等の災害に対する児童生徒の防災対応能力の向上及び学校の防災体制を充実させるため、学校と地域の連携を推進し防災力の強化を図るために行っていくものです。

この防災力強化のために、どのような組織がどのような事業を行うのかというのが、組織と事業内容というところになります。

組織としましては、市の教育委員会が中心になって設置する学校防災推進委員会と、各公立学校に設置する学校防災連絡会議の二つがございます。まず、表の左側

の推進委員会は、市全体として組織的に学校及び地域の連携を図ることを目的としており、構成員は、本日ここにお集まりいただいた皆様、事業内容は、学校防災手帳の作成や、教職員向けの研修会等を開催しております。表の右側の学校防災連絡会議は、各学園学校単位で設置されております。学校やPTAと地域の方々が連携することで、実践的な対応ができることを目的として、避難訓練や防災教室等を実施しております。地域と一緒に訓練をすることで、防災意識の高揚を図ることができたという成果が学校から上がっております。資料2は、つくば市学校防災推進委員会設置要綱でございます。設置の目的、所掌事項、組織及び運営等について定めております。今年度は、防災に係る取組について、児童館との情報共有を図るため、こども育成課長に委員として御参加いただいております。組織概要の説明は以上となります。

会長：ただいま説明がありました内容について、御意見ありましたら、お願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。特によろしいですか。それでは先に進めさせていただきたいと思います。では次に(2)、令和3年度学校防災事業について、事務局から説明をお願いします。

(2)令和3年度（2021年度）学校防災事業について

事務局：令和3年度の学校防災事業について、説明いたします。まず資料3、令和3年度の事業報告を御覧ください。第1回の学校防災推進委員会はコロナウイルスの影響で、書面審査とさせていただきました。内容としては、令和2年度の学校防災事業についての報告と令和3年度の事業の計画についてです。続きまして、令和4年の3月8日に開催した第2回学校防災推進委員会ですが、こちらは対面で開催をさせていただきまして、令和3年度の防災事業について報告をさせていただきました。

その他に学校防災研修会を12月17日に行いまして、こちらは国土交通省国土技術政策総合研究所、長屋先生にお越しいただきまして、学校防災についてという演題で、各校をオンラインでつなぐような形で会議を行いまして、各校の方々あるいは地域

の方々に講義を聴講いただいた形になっております。その他、推進委員会の事業としまして、学校防災手帳の作成を行いました。昨年度は、谷田部小学校、沼崎小学校、桜並木学園。桜並木学園については、桜南小学校と並木小学校の2校合わせて学園として作成させていただいております。

続きまして資料の4になります。令和3年度の各学園の実施内容の報告書になります。各学園で水平展開している内容でございますので、事業内容については重なる部分がございますが、御紹介させていただきます。大穂学園では5月に合同引渡訓練を行いました、同じく防災連絡会議を開催しております。豊里学園でも同じく5月に防災委員会と引渡訓練を行っております。輝翔学園では5月に地域防災連絡会議、高山学園でも、同じく5月合同引渡訓練を行っております。5番の光輝学園では、引渡訓練と防災連絡会議、2回に分けて行っているという形になっております。続きまして洞峰学園でも同じように防災連絡会議を行いました、桜学園でも防災会議や引渡訓練を行っております。桜学園の方では、Zoomによる講演会の方も行われております。8番の竹園学園ですが、こちらも引渡訓練と防災連絡会議を6月に行っております。桜並木学園でも6月に防災連絡会議を行っております。続きまして、秀峰筑波義務教育学校ですが、こちらも避難訓練、それぞれ竜巻地震、火災に対する訓練を、6月に行ったと報告があります。引渡訓練の方も、6月に同じく行われております。シェイクアウト訓練も行ったという報告もいただいております、不審者に対する避難訓練も行っているとのこと。さらに、11番吾妻学園では、避難訓練引渡訓練のほかに、夏に防災キャンプを行っております。防災連絡会議も、行われているということです。12番の荃崎学園ですが、学園の合同連絡合同の避難訓練と引渡訓練を行われておりまして、防災連絡会議の方も、引渡訓練の検証ということで行われております。また、荃崎第三小学校が土砂災害の被害が想定される地域に立地することから、土砂災害の対応訓練を行っております。続きまして、春日学園では引渡訓練を検討しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっております。みどりの学園の方では、地域安全会議、避難訓練、緊急地震

速報の訓練と、火災発生時の避難訓練ということで、それぞれ行われております。学園の森義務教育学校と高崎学園がございまして、学園の森義務中学校の方が、引渡訓練を想定しておりましたが、中止となりました。高崎学園の方では、合同引渡訓練のほかにも、独自で防災マップづくり、或いは避難所で私たちにできることはという取組を行っております。学園の方は以上となります。続きまして、資料の5に移ります。学校単位の取組が一覧となっております。こちらでも水平展開でもございますので各校でこのような取組や、つくばスタイル科での授業が行われたということで、御覧いただければと存じます。市内各校で水平展開ということで、このような取組がなされております。昨年度の報告としては以上となります。

会長：ありがとうございました。ただいまの説明について質問や確認事項がありましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。長屋先生お願いいたします。

長屋氏：まず、事務局に確認ですが、資料4について、日程が1枚目は全部2021年5月になっていて、2枚目以降は全部2021年6月となっておりますが、コピーのミスではないかと思えます。私が行った、吾妻学園と竹園学園については、少なくとも間違っていますので、確認された方がいいと思えます。

事務局：申し訳ございませんでした。学校に確認し、修正いたします。

会長：学校の個別の取組について時期が一致しないところもありますので、改めて確認し、資料を修正した方がいいですね。ありがとうございました。他には質問、確認事項などありますでしょうか。質問はないようなので、意見がありましたらいただきたいと思います。今日は学校からの大曾根小の校長先生と春日学園の校長先生に参加いただいておりますが、突然ですけれど、大曾根小は様々な取組を行っていると思いますが、取組のなかで良かった点や、学校の防災力という点で課題などお聞かせいただければと思います。

中野委員：大曾根小学校の中野です。よろしくをお願いいたします。昨年度、学園としては合同引渡し訓練と防災連絡会議を予定しておりましたが、残念ながら新型コロナウイルス感染症の関係で、充分に行うことができませんでした。昨年度できな

かった学園の防災連絡会議については、本年度は同じ内容で実施する予定になっております。学校防災会議ということで、本年度は引渡訓練と一緒に実施することができました。そこでいろいろな地域からの課題を出していただきました。防災倉庫を見ていただいたんですけども、防災倉庫の中身が、果たして大曾根小の地域の住民が避難してきたときに、この量で足りるか不安であるという意見を頂いております。またその他にも、もう少し整備してもらった方がいいのではないかという意見をいただきました。ただ地域的には、花畑地区は、地域での防災訓練もきちんと実施しておりまして、地域のコミュニティーでの防災体制がきちんと整っているというお話もいただきました。学区内の地域によって少し差があるのかなということが、本校の課題となっております。

会長：ありがとうございました。春日学園もお願いします。

栗山委員：春日学園でございます。昨年度春日学園では資料にありますように、避難訓練を行いましたけれども、引渡訓練はなしということで、後はつくばスタイル科において、講話等を聞いたり防災マップの作成等を行ったりしたところでございます。その他の取組としましては、昨年度の修学旅行で新型コロナウイルス感染症の影響もあり、京都、奈良への旅行を中止しまして、本校では、2011年の震災から10年経ったということで、被災地の見学を取り入れました。南三陸とか石巻ですね。特に大川小学校の方では、ボランティアの方が語り部となって、御自身のお子様を亡くされたという方がみずから体験談を話してくださったということで、子供たちの心にもすごく響いたものがあつたようです。実は修学旅行から帰ってきた後に、実行委員を中心に私のところに訪ねてきてまして、私たちは修学旅行で被災地の見学に行つて、当事者意識が欠けており、自分事としてとらえることができていないことがわかつた。そこで9月1日の避難訓練の時に、1年生から8年生に防災について意識を高めてもらう目的で私たちが下級生にプレゼンを行う時間を15分ぐらい欲しいんだ、というような話がありました。実際には9月1日は臨時休校となりましたため10月に実施しましたが、子供たちが意識を高めて、下級生に防災について

発表するという活動を行ったところでございます。以上です。

会長：ありがとうございました。子供たちが主体的に防災について考えたことは、すごくいい流れになったのではないかと思います。いま、大曾根小の方では、防災倉庫の中身について不安があるという意見が出たと、これは学校の防災というより、地域防災の方になると思うんですけども、その点に関して、今後このようなことを考えているとか、学校で取組を考えているというのは、危機管理課長に伺えばよろしいですか。

鬼塚委員：危機管理課 鬼塚です。いま、つくば市は25万人の人口ですが、25万人分の備蓄は考えてはいません。報道や様々な情報のなかで、災害が起きれば全員避難所に行くという意識を持っている方が多いんですね。ただ実際つくば市のリスクを考えたときには、そこまでの備蓄は過剰な備えになりますので、現在のところ2万人分の食料を本部と各学校等に分散して置いているような状態です。避難所に行く必要があるのかないのかということも含めて、様々な場で広報しているんですが、市民には浸透していないという状態でして、川沿いにお住まいの方、山間部にお住まいの方は避難の必要がありますが、例えば先日の能登の地震においても、家が潰れてしまった、という人はいないんです。震度6では、家そのものが潰れるというよりは、むしろ停電、断水などの被害が大きく、家の中でしのぐことができる防災の事例が多くありますので、家具の転倒防止対策や、各個人での備蓄ということを市として進めているところです。以上です。

会長：ありがとうございました。そのようなことを保護者の方に広報しながら、何かそれでも気になることがあれば、お話いただければと思います。長屋先生も多くの学校で講師を務めていただいて、本当に毎年ありがとうございます。その中で、このような点が変わってきた、このようなことが課題であるとか、お気づきの点があればお話いただきたいと思います。春日学園での話にあった、当事者意識という面も大事なキーワードだと思いますが、その点に関してもお願いしたいと思います。

長屋氏：春日学園の件はどんなことをされたかと関心があったので、後で聞いてみたいと思います。今の中野先生のお話と鬼塚課長のお話より、課題を感じます。なぜかという、鬼塚課長は、在宅避難をしてください、そのために家具固定をしてください、トイレ備蓄をしてください、食べ物の備蓄をしてくださいということを市として周知している、一方で、学校防災会議では、防災倉庫を見て、備蓄物資が足りないと言っていて、少し噛み合っていない。学校防災連絡会議では、学校の防災倉庫の備蓄物資は本当に避難が必要な人のためのものであることを共有し、在宅避難や備蓄など鬼塚課長が仰る市の防災危機管理のメッセージも伝える側にもなるべきですが、現状は残念ながらそのような場になっておらず、連携不足と言わざるをえないところがあります。市の方向性と学校の連携がきちんと取れているかというのは重要だと思います。

会長：ありがとうございました。市の方針、方策をしっかりと教育局として、学校として受け止めなければならないし、それを保護者に伝える体制づくりについて、工夫が必要になりますね。ありがとうございます。他に何か御意見等ありましたらお願いしたいと思います。この点はよろしいですか。続いて(3)の令和4年度学校防災事業計画について、事務局の説明をお願いします。

(3)令和4年度（2022年度）学校防災事業計画について

事務局：令和4年度、2022年度の学校防災事業計画について、資料6、7、8を用いてご説明いたします。資料6、学校防災推進委員会としての防災事業計画を御覧ください。第1回学校防災推進委員会が、本日6月27日に開催されておまして、昨年度の事業内容の報告と今年度の計画について、御説明しております。また、3月開催予定でございますが、第2回学校防災推進委員会を開催しまして、今年度の事業内容、実績について報告する予定でございます。その他、学校防災研修会を今年度も予定しておまして、テーマ設定や、内容等、教職員の皆様の例年のアンケートを取っておりますので、そちらの内容や、或いは防災について適した話題等ございましたら、そちらも交えながら研修を行って、防災意識の向上に努めたいと考

えております。今年度の学校防災手帳の作成ですが、こちらは後々詳細を御説明いたしますけれども、栗原小学校、前野小学校、柳橋小学校、学園の森義務教育学校の4校で作成予定でございます。推進委員会の取組は以上となりまして、各学園の防災の実施計画について、資料7番を御覧ください。こちら各学園で水平展開をさせていただいておりますので、内容重なる点ございますが、全学園を御紹介させていただければと存じます。大穂学園では、引渡訓練、防災会議を5月に開催したということでございます。その他8月に、学園としての防災会議を予定しているということでございます。豊里学園は防災会議を2023年の2月に予定しているということです。輝翔学園の方でも、10月、11月に学校防災連絡会議を予定しております。高山学園ですが、こちら、6月に防災、学園合同の引渡訓練、こちらは先日行われたということで、報告がありました。その他、2023年の1月に、学校防災連絡会議を予定しております。続きまして、光輝学園ですが、こちら5月に学園合同の引渡訓練が行われたということです。7月に光輝学園の学校防災連絡会議があり、防災倉庫の動画配信をZoomで行うということで、計画中であるということです。続いて、12月にも防災会議を行って、講話を行う予定であるということです。続きまして洞峰学園ですが、6月に合同引渡訓練が行われたとのご報告を頂きました。続きまして桜学園ですが、こちら引渡し訓練を行ったという報告を頂いています。また、8月に学校防災連絡会議ということで、講師の方を招いて、講話を予定しているということです。続きまして竹園学園ですが、こちら引渡訓練が行われました。さらに9月に防災連絡会議を予定しているということで、御報告いただいております。桜並木学園に参りますが、9月に合同引渡訓練を予定しております。時期は未定ながら、防災連絡会議の方も計画中であるということで御報告頂いております。秀峰筑波義務教育学校ですが、こちらは4月に避難訓練を開催いたしまして、7月に引渡訓練を予定しているということで、続いて、9月にシェイクアウト訓練、12月にも避難訓練を予定しているということです。続いて吾妻学園ですが、こちらは、5月に引渡訓練が行われたと報告を頂いておりまして、また、9月に防災キャンプ

の方を予定されていて、11月に学校防災連絡会議の方も予定されているということです。荃崎学園ですが、6月に合同の引渡訓練が行われておりまして、11月に学校防災連絡会議の方も予定されているということです。続きまして春日学園ですが、こちらは5月に引渡訓練を行い、9月にシェイクアウト訓練と、不審者想定避難訓練も、同じく9月に予定されております。みどりの学園ですが、5月に地域安全会議というものを開きまして、地域の安全のために、会議をされております。7月にシェイクアウト訓練、さらに日程は検討中とのことですが、引渡訓練と防災教室の方も検討されているということです。続きまして、学園の森義務教育学校ですが、避難訓練を4月、5月に行いまして、12月にも予定していると御報告いただいております。高崎学園でございますけれども、引渡訓練は、6月に行われておりまして、9月にシェイクアウト訓練、避難訓練と不審者対応の避難訓練を行い、2月に学園としての学校防災連絡会議を予定されているということです。続きまして資料の8番、学校単位の取組です。こちらにつきましても、水平展開ですべての学校で実施されておりますので、一覧に記載された取組が行われます。各学校で避難訓練、或いはつくばスタイル科での各防災単元の取組、或いは教職員研修等を通じて、防災意識の向上を図っております。今年度の各学園、各学校の取組としましては、以上となります。

会長：ありがとうございました。ただいまの説明に、質問や確認事項がありましたらお願いします。危機管理課長、お願いします。

鬼塚委員：危機管理課鬼塚です。学校・学園で様々な取組を行っているようですが、計画が出てきたときに、何か教育総務課でアドバイスはしておりますか。資料を見ると、竜巻の訓練がひとつも入っていないくて、つくばは竜巻の被害を受けているので、竜巻の訓練が入っている学校があったように思いますが、そういうものがないな、と見ていて感じまして。そのような情報の提供については、何かできたらいいと思いました。

事務局：ありがとうございます。学校からお話をいただくこともございまして、そ

の場合は他校での取組を御案内するような事例がございますけれども、仰るように、例えば今挙げていただいた竜巻の訓練等、個別の訓練についてはそこまで詳細に御案内してはいない状況でしたので、竜巻の訓練等についても水平展開できるように御案内できればと考えております。ありがとうございます。

鬼塚委員：必要であれば我々も協力しますので、よろしく申し上げます。

会長：ありがとうございます。栗原小に竜巻対応というのが1回、葛城小もあります。学校によっては原子力災害に対する訓練というの取組のなかにありますね。やはり、想定する災害を固定化しないというのは大事ですね。教育委員会でも各学校がどんな訓練をしているのか把握して、避難訓練の内容が固定化している学校にはアドバイスが必要かもしれません。学び推進課では特に避難訓練の内容について、各学校に指導することはなかったのでしょうか。

岡田委員：今まで一つ一つの学校の取組について助言する場面はありませんでしたが、会長が仰ったように、年度内で全ての災害を想定して避難訓練を行うのは難しい面がありますが、様々なパターンを想定しなければならないというのが避難訓練であり、防災教育であると思います。我々は各校の事例を確認できる立場でありますので、そのような事例を各校に伝え、様々な災害のパターンも紹介して、防災力を高めていければと考えております。

会長：ありがとうございました。最近子供たちがAEDを使う研修、学習といますかそのような機会が増えているように感じますが、この報告には特に入っていないのでしょうか。特に報告に含めない内容なので入っていないということでしょうか。

事務局：救命に関することについて、そのような取組も含めて実施している場合には報告いただければと案内しており、報告の対象には含めておりますが実際の報告としてはなかなか挙がってきていないという状況でして、そのような取組についても報告をお願いしたいとより周知して、実績報告にはそのような取組も反映できればと考えております。

会長：学び推進課長お願いします。

岡田委員：子供たちのAEDの活用、使用法については、体育の授業や保健の授業では取り入れていると思います。そのようなことを取り入れている学校がたくさんあると聞いておりますが、今回の防災教育の報告に記載するところでは、もしかしたら漏れている部分があると思いますので、子供たちのAEDの授業については、教育総務課とも相談して、報告に含める場合にはどの部分で記載していくかということも改めて検討していきたいと思います。

会長：つくばスタイル科の防災の領域のひとつとして扱うとしていたような気がしますが、中野先生、いかがでしょうか。そこまではしていませんでしたか。

中野委員：5年生と8年生で扱っていますね。そのような位置付けであったように思います。

会長：健康教育課では把握しておられますか。

柳町委員：AEDについてはどの学校で何回という報告を受けているわけではありませんが、かなりの数の学校で、年間を通して研修を受けているというのは存じ上げております。「あっぱくん」という、押すと音が鳴る教材の貸出もございますので、ぜひ私どもとしても、どの学校で研修をしているのかという報告を見たいと思います。また健康教育課で救急課の協力を得て、各学校のAEDの見直しをしております。設置台数を増やしたり、外部に設置したりということも検討しておりますので、実情を踏まえてさらに検討していければと考えております。

会長：ありがとうございます。つくばスタイル科の位置付けも確認して、もし防災に入っているのであれば各学校できちんと報告して頂くといいのではと思いますのでよろしくお願いします。他にはありますでしょうか。長屋先生、お願いします。

長屋氏：資料7と資料4に関して、以前は各学園が防災連絡会議を運営する上で困っていることを記載する欄があったと記憶しています。困っていることを書いてもらい、教育総務課を通じて支援をしたり、各学園の取組を共有や水平展開したり、と使っていたと思います。本取組が継続されることで、各校で困ったことと言うも

のがなくなったからかもしれませんが、いつしか備考として記載するかたちとなったと思います。ただ、その結果、鬼塚課長の発言のようになっているところがあると思います。また、教育総務課に対して質問になりますが、この資料は何を意図して作っているかを整理した方が良いのではと思います。報告書の趣旨を踏まえて記入欄を見直しても良いのではないかと思います。

別件で現場の先生にお伺いしたいのですが、シェイクアウト訓練が行われていますが、シェイクアウト訓練のときは決まった音声のCDがあって、そのCDで緊急地震速報を流しています。しかし、学校施設には緊急地震速報を受け取る設備がないので、実際に地震が起きたときに緊急地震速報を校内に流すことができません。一方で携帯電話の緊急地震速報は鳴ります。先生方が携帯電話を持っていれば受信できるため、シェイクアウト訓練を活かすことができます。学校現場としては、個人携帯の携行についてどうなっているのか教えてください。

会長：中野校長先生、お願いします。

中野委員：携帯電話の持参については、コンプライアンスの観点から、基本的に教室には個人的なものを持ち込まないことになっておりますが、今はiPadや携帯電話を使って授業をやっている先生もおりますので、申告制にして、このような理由で使うので持ち込むという書類を作りまして、教室に持ち込んでいる教師はおります。ただ、防災の観点から持ち込んでいるわけではないというのが現状です。

会長：春日学園ではいかがですか。

栗山委員：春日学園では1人1台PHSが割り当てられており、基本的に携帯電話は職員室に置いているというような状況でございます。

長屋氏：防災のためだけに携帯電話を携行する、とはならないと思いますし、私もそこまで言及できる立場でもないのですが、結局シェイクアウト訓練を実際にどう活かすかという、課題が残ってしまうので、そこはまたいろいろな形の議論をして頂きたいと思います。例えばiPadのアプリを入れるとか、何か工夫があると思います。今のシェイクアウト訓練が無駄ということはありませんが、もう少し工夫し

ないと、せっかく学校で訓練していることが活かせなくなってしまう。

会長：ありがとうございます。この委員会の目的からして、防災力を向上する意味から課題をしっかりと捉えて、その課題に対して少しでも改善していくという姿勢は大事だと思いますので、何を報告するか、報告内容についても長屋先生から提案がありましたので、変えていきたいと思います。他にはありませんでしょうか。長屋先生お願いします。

長屋氏：今年の研修会は、まだ決まっていませんというお話でしたが、私はこの2年ほどお話をさせていただいて、災害時のトイレのことについて皆さんの関心が高いので、災害用トイレの活用方法についてお話をしてほしいとのリクエストがあり、2年続けて話題の一つにしています。ただ、そのあとに学校現場で何か変わったのかというと、正直なところ何も変わってないのではないかと考えていて、例えば研修会に参加した先生方が、自分の自宅には備えが何もないぞと思って個人の備蓄を進めてくれたならそれは素晴らしいことですが、学校としてはあまり変わってないのではないかと気がします。もう少し考えてみると、学校単位の災害発生時のトイレのリスクそのものの評価がされていないのではないかと気がします。この会議の前に、大曾根小学校の受水槽のことが話題になっていましたが、数年前に大曾根小学校では水道管が凍結して、トイレが流せなくなる事態が発生しています。その時はプールの水を活用したようで、その時の経験は引き継がれているのだと思いますが、それで終わってしまっているのでは、と言う懸念があります。各学校のリスクは、正確に評価する必要があり、各学校の受水槽は何リットルで、給水は何で駆動していて、何が止まるとどうなるのか、例えばこの受水槽は電気が止まっても動くけれど、ポンプ圧送をしていると電気が止まった時点で水は一切使えなくなるというような評価や、逆に電気は動いていたとしても水道が止まってしまうと、その時点で残っている何リットルかの水で過ごさなくては行けない、等の評価をする必要があると思います。そうすると、例えば地震発生から、何時間のうちにトイレ用水が無くなり、トイレが使えなくなりますというリスクの評

価できますが、そういうことが全くされていません。これは教育施設課に聞いたほうが良いかと思いますが、恐らくそのようなリスク評価はされていませんよね。そういう評価を出すと皆びっくりするはずで、地震が発生すると1時間しか水が持たないのかと。実は私の職場もそうで、受水槽の水が一番少ないときに地震が発生して停電、断水が発生したらどうなるかという、1時間以内にトイレに使える水がなくなり職員全員が困るということがつい最近分かり、大丈夫?となりました。そのようなリスク評価をして、本当に危ない状況だなと認識すると、トイレをどうするかもっと考えなくてはいけないなと思うので、各学校で個別に検討をしなくても、教育施設課の情報で評価できると思うので、これまでやってきたことを踏まえたひとつのステップとしてリスク評価をした上で、次はどうするかというのを考えてはと思いますので御検討いただければと思います。

会長：ありがとうございました。教育施設課長、何かありますか。

鈴木委員：教育施設課鈴木です。受水槽に関しましては仰るとおりで、ポンプで圧送しているところもありますので、電気が止まれば、各トイレには水が流れなくなってしまいうような学校もありますし、高架水槽で、その高架水槽の中の水がある分には、一時的に使えるという学校もあるということで、私としても全て把握しているわけではないので、防災という観点では、そのような状況を把握するというのが必要なのかと感じました。

会長：ありがとうございます。

長屋氏：ぜひ状況の整理を行うべきだと思います。既存資料を調べれば分かると思います。良ければ一緒にそのような調査をさせていただければと思います。その結果は僕が各学校の連絡会議でお伝えしていくこともできます。

会長：ありがとうございます。私も思い出すと、常総の水害の時、トイレの水が流せなくてみんなでバケツリレーをしてプールの水を運んだという、プールの水が役立ったということはありませんか。総合的にちょっと把握するようになりたいと思います。ありがとうございました。他はよろしいですか。それでは(4)に進みます。

学校防災手帳の概要について、事務局の説明をお願いします。

(4) 学校防災手帳の概要について

資料9、つくば市学校防災手帳の概要について説明いたします。学校防災手帳の事業ですが、目的としましては、携帯できる防災手帳を児童生徒に提供し、日常生活や授業に活用してもらうことで、人、児童、生徒及び保護者の自助共助の意識の向上に資することを目的としております。概要としましては、ハザードマップ等、行政機関が発行している情報と、つくばスタイル科等で学ぶ、防災単元での児童の学習の成果を組み合わせる防災手帳を作成し、携帯できる手帳を作成するという形になります。今年度の作成校は、栗原小学校、柳橋小学校、前野小学校、学園の森義務教育学校の4校となっております。参考までに、これまでの作成校について下にお示ししておりますが、平成30年度から、年に3校ないし4校ほどの地域を対象に作成しております。今年、令和4年度の実施で、市内のおよそ半分の学校で防災手帳が作成される見込みとなっております。学校に依頼する事項としましては、児童生徒の授業時間を活用して、データの収集に当たります。また、データの収集に関わる連絡調整をお願いしております。この手帳は、国土交通省国土政策総合研究所の協力のもと作成しております。大元になりました取組が吾妻学園で行われておりまして、そちらの取組をもとに作成しております。学区の地図の面と、防災に係る情報の面がございますが、防災に係る情報の面については、つくば市総合防災ブック等の行政の情報を参考にしております。地区ごとの110番の家というのもこちらの地図の一覧に載せておりますが、こちらについては各学校で取りまとめをお願いしている110番の家のリストを頂いて、それをもとに地図に落とし込むという作業をしております。さらに、児童生徒がつくばスタイル科の防災単元で見つけてきた危険箇所について、実際に地図に載せておりまして、ブロック塀あるいは自動販売機のような、子供の目線で見ると危険と思われる情報について、地図に載せております。それによって、子供たちの成果を有機的に活用することで情報として活かすとともに、子供たちに愛着を持って、日常で携行していただく防災コンテンツと

して作成しております。AEDの情報についても載せておまして、茨城県のAEDの設置施設登録制度に登録している施設を掲載しております。事業概要としては以上となります。

会長：ありがとうございました。ただいまの説明に意見や質問事項ありましたらお願いしたいと思います。これは特によろしいでしょうか。では、次の議題に進みます。

(5) 学校防災体制の推進について

会長：議事の最後になりますけれども、(5)学校防災体制の推進についてということで皆さんからお話をいただきたいと思います。委員の皆様は御存知でありますし、もちろんこの会議の中でも出てきましたけれども、学校では学校防災連絡会議という組織を学校単位で設置して、災害の発生時に適切な行動ができる体制の整備や、児童生徒、教職員の防災意識の向上を図っておりますが、この会議は保護者の他に、区会や地元消防団の方も構成員として御協力いただいております。その関係から、地域消防課、市民活動課にも、この委員会に出席いただいております。現状では学校への関係者名簿の提供について御協力いただいていることは承知しておりますが、今後、学校防災体制を推進していくに当たり、例えば災害が発生したときにどのような支援や関わりかたができるのか、また、現在このような課題を感じているというようなことがありましたら、御意見をいただければと思います。最初に地域消防課長、お願いしたいと思います。

水橋委員：地域消防課の水橋です。よろしくお願いたします。当課では消防団に係る業務を行っておりますが、学校の引渡訓練や、学校防災連絡会議に地域の消防団の長、分団長が参加しております。直接参加されている方に意見を聞いた方がよろしいかと思ひまして、引渡訓練に参加頂いた方5～6人にお話を聞いてみました。ひとつとしましては、引渡訓練ですので子供たちが学校にいる時でなければ訓練ができないので、致し方ないかなという反面、参加している方は日頃は普通の会社員という方も多いこともあり、やはり仕事を休んで出席していますので、なかなか

か大変だという声はお聞きしましたがけれども、地域の子供たちのためなので頑張っていますという御意見を頂きました。また、このようなときにプールの消火栓の確認など、先ほどお話がありましたように防災倉庫の確認も一緒にできるので、緊急時の備えとしては良い機会だという御意見も頂きました。それから、学校の先生やPTAの方や区長さんなど、なかなかお会いしてお話する機会がないので、地域の連携といったところでは非常に良い機会だというお話を頂きました。ひとつ課題といえますか、実際、大きな災害が発生してしまった場合に、東日本大震災の場合でも、被害状況の確認や給水活動、広報活動、もしも火災が起これば火災対応と、そちらの活動に当たらなければいけませんので、災害が発生したときに、学校に対する防災活動を同時に行うことはなかなか難しい状況であると、私と実際に訓練に参加した消防団の方の間でお話していた状況です。

会長：ありがとうございます。それでは市民活動課の荒澤課長はいかがでしょう。

荒澤委員：市民活動課課長の荒澤でございます。よろしく申し上げます。市民活動課は市内に区会連合会を6地区持っておりまして、区会数としては、昨年の実績で602の区会がございます。先ほどお話があった通り、各区長については、各地区、各学校で行われる訓練、また会議等も参加しているということで、先日ですと5月20日に大穂地区で行われた訓練で、ちょうどその時にはつくば市の区会連合会の総会があったのですが、大穂地区の区長の方々は全員訓練に出るということで、区会連合会の方ではなく学校の方の訓練に参加したということで報告を受けています。周辺地区では、高齢者の区長が多かったり、研究学園であったり、みどりの地区になってくると、昼間はサラリーマンをされている方がいらっしゃって、先ほどのお話の通り、みんなで一緒に訓練をするってところに非常に難しい点もありながら、やはり自分のお子さんであり、お孫さんであり、お世話になっている部分もあり、また地域の見守りという意味合いでも各区長の方々としては、非常に大事な活動であると認識されています。特に災害が多い時代のなかで、防災訓練に参加をしようと区長が声かけを行って地域の皆さんに参加を呼びかけているということは、

報告を頂いております。

実際に地域で災害が発生したときの、区長から挙げられる課題がありまして、区長の方々は当然ながら子供たちの見守りの部分もとても大事なひとつとしてお話をされているんですが、当然ながら災害弱者と言われている高齢者の方であったり、一人暮らしであったり寝たきりになっている方、そのような方々の情報も掴みながら大規模な災害に備えているところもあって、もしも大きな災害が起きたときに、何を優先にしていくなかで、区長が全ての判断を求められたときに、そのタイミング、時間帯など、様々なところで、非常に判断に苦慮するところがあるというのは、連合会の話の中なかでもあったんですね。当然ながら、子供たちであったり、一人暮らしの方の安否確認など、そういったところについて最優先として区会で考えているということではあるんですが、夜間であるとか早朝であるとか、下校時や登校時、様々なタイミングがあると思うんですけども、非常に苦労する場面が出てくるのではないかというようなお話がありました。すみません、少しまとまっていないかもしれませんが。

会長：ありがとうございます。仕事を持っている方が学校のためだけにという、自分の他の役割もあるなかで、なかなか難しいというのはあると思います。

荒澤委員：地域や子供たちを守るんだという意識はあって、それはまず大前提として、他のものも全部区長のところに寄せられるので、タイミングによっては非常に苦慮するところがあるんです。

会長：ありがとうございます。区長だけで判断できるわけではないので、地域全体の結束力というか、地域の防災力というところにも関わってくるのかなと思います。各学園で、コミュニティスクールも始まるので、そういう意味でも連携が、強化されるのではと期待しております。ありがとうございます。今年度から、児童館の子供たちの安全について、その連携も欠かせないということで、こども育成課の課長にも出席いただくようになりましたが、こども育成課の吉田課長、学校と児童

館との連携について、今後心配していることや課題と思っていることがあれば、お話いただければと思います。

吉田委員：こども育成課の吉田と申します。よろしく申し上げます。児童館の防災対策につきましては、各児童館でマニュアルを作成しまして、年間計画を立てながら、地震、火災、防犯、不審者等の防犯訓練を計画に基づいて行っております。学校とどのような連携を図ることができるかにつきましては、発災時の安否確認と、引渡しの部分ではないかと思っております。しかしながら、児童館及び各児童クラブには、公設公営、民設民営、公設民営の施設があり、様々な運営形態がありまして、また児童館の場合につきましては、一般の来館者もいることなどから、児童館側で利用するすべての児童を把握して、発災時に児童館又は児童クラブ側から、学校側に連絡することは難しいと考えております。安否確認につきましては、大変恐縮ではございますが、学校から児童館や児童クラブ側に照会することとしまして、学校から照会があった場合には、円滑に確認できるような体制を整えられるようにすることであるとと考えております。よろしく申し上げます。

会長：ありがとうございます。公設の施設はいつも決まって来る子ももちろんいますが、一般来館者もいるという状況である。私立の施設では、様々な学校から来ている難しさもあるという、今後一緒に考えながら課題を整理していければと思いますので、よろしく申し上げます。それでは、今までのお話も踏まえて、危機管理課の鬼塚課長、何かお気づきのことがありましたらお願いします。

鬼塚委員：学校の子供たちも含め、地域の防災力はすごく大切だと思います。先ほどお話があった、区長の方々に情報が全て集まってしまうという点も、例えば安否確認においては、我々大人が見回りに行くよりは、例えば中学生が近所を回って御用聞きのようなことをすることによって、お年寄りも安心するという、逆に言えば子供の役割というものもあるのかなど。学校ごとにリスクは異なると思うんですね。浸水想定区域にある学校においては、いち早くそこから子供たちを離す、もしくは引き渡すということをしなくてはいけないのですが、逆に中心部においては、保護

者が東京に勤めていて引き渡せないということも想定しなければならないということがあり、先ほどお話にあった荃崎第三小では土砂災害を考えて訓練を行うということをしていたので、学校ごとのリスクによって地域との関わり方が変わってくるので、できれば我々も一緒になって取り組みたいと思うのですが、危機管理課は6名の部署で、学校からお声掛けを頂くのですが、どうしても夏場の時期というのは、急遽、大雨の対応などをしなくてはならず、予定通りに対応することが難しい場合があるので、現状では夏場の時期を避けて学校に訪問しています。先ほど大曽根小学校のお話がありましたが、その日はまつりつくばの日でもありまして、まつりつくばの危機管理についても対応していますので、まつりつくばに係る業務内容によっては、大曽根小学校の会議への出席が難しいかもしれません。学校の立地によって、地域、地区ごとに状況が異なるので、我々も一緒に取り組みたいと思っていますので、可能な範囲で、学校と個別に協議しながら進めていけたらと思います。当然市内でも様々な部署と連携して動きたいと思っていますし、こうした会議を中心に連携できればと思っていますので、よろしくお願いします。

会長：ありがとうございます。形だけにならないように、何が必要なのか、何が課題なのかというところを学校ごとに整理していけるように、私たちが支援していければと思います。長屋先生、最後に何かありましたらお願いしたいと思います。

長屋委員：6月19日の日曜日に、神戸で開催された防災教育学会に参加してきましたのですが、そこで研究者の先生とお話をする機会があり、つくば市の学校防災推進委員会について、現場の先生や大学の先生にお話をしたのですが、市の教育委員会の中に、学校防災ないしは防災教育を議論する会議があるということについては、非常に驚かれました。つくば市はそんな取組をしているのか、凄いなという意見を頂き、かなり全国的に見ても先駆的な取組であると再認識しました。

また、そこで仲良くなった西宮と尼崎の先生や昨日逗子市のとある自治会に防災講座で呼ばれ市の危機管理課の方や教育関係の方とお話をして、防災手帳の紹介をしました。取組の参考にさせてくださいと言われて、それぞれ現物を送らせていただ

きました。いろいろと参考にさせていただきますとも仰っていましたので、その時はつくば市学校防災推進委員会の名前を入れてくださいとお願いしたいと思います。このようにつくばの取組がすごく注目されている状況がありますので、もっとアピールしていてもいいかなと思います。

会長：大変勇気づけられるようなお話をありがとうございました。これで議事は終わったわけですがけれども、その他、委員の皆様から何かありましたら、お願いしたいと思います。これはよろしいでしょうか。事務局からは何かございますか。

事務局：先ほど、令和4年度の事業計画の方でお話差し上げましたが、学校防災研修会を今後予定しております、続いて第2回の防災会議も予定しております。昨年度の例で申しますと、学校防災研修会が12月、防災推進委員会の第2回が3月に開催されておりました、いずれの会も1箇月ほど前になりましたら、皆様に御連絡できればと考えておりますので、御協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

会長：事務局にお返ししますので、進行をお願いします。

事務局：改めましてその他、委員の皆様から何かございますか。よろしいでしょうか。今回会議の中で確認不足の点がありまして大変申し訳ございませんでした。改めて確認させていただきまして、皆様に修正したものをお示しさせていただければと思っております。今回の会議では、皆様から御意見、アドバイスをいただきまして、大変参考になりました。この会議は、学校を中心に、庁内でも防災に関連するような部署が集まる会議として大変貴重なものだと改めて感じたところです。今後皆様の御意見を活かしながら、より充実した会議となるよう、事務局も努めて参りたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。それでは、これで第1回つくば市学校防災推進委員会を終了いたします。皆様お忙しいところありがとうございました。

以上

令和4年度
第1回つくば市学校防災推進委員会 次第

日 時 : 令和4年(2022年)6月27日(月)
午後3時30分～
場 所 : 庁舎2階 防災会議室3

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

- (1) 学校防災推進委員会の概要について【資料1・2】
- (2) 令和3年度(2021年度)学校防災事業について【資料3・4・5】
- (3) 令和4年度(2022年度)学校防災事業計画について【資料6・7・8】
- (4) 学校防災手帳の概要について 【資料9】
- (5) 学校防災体制の推進について

4 その他

5 閉 会

令和4年度（2022年度）つくば市学校防災推進委員会 名簿

	役 職	所属等	氏 名
1	会長	つくば市教育長	森田 充
2	副会長	つくば市教育局長	吉沼 正美
3	副会長	つくば市学校長会長	栗山 賢司
4	委 員	つくば市教育局次長	飯泉 法男
5	委 員	つくば市教育局次長	久保田 靖彦
6	委 員	つくば市学校長会 小学校部会長	中野 真粧美
7	委 員	つくば市学校長会 中学校部会長	小島 健
8	委 員	つくば市幼稚園長会長	中野 桂子
9	委 員	つくば市P T A連絡協議会長	横田 智之
10	委 員	つくば市市長公室 危機管理課長	鬼塚 宏一
11	委 員	つくば市消防本部 地域消防課長	水橋 光一
12	委 員	つくば市市民部 市民活動課長	荒澤 浩俊
13	委 員	つくば市こども部 こども育成課長	吉田 和敏
14	委 員	つくば市教育局 教育総務課長	笹本 昌伸
15	委 員	つくば市教育局 学び推進課長	岡田 太郎
16	委 員	つくば市教育局 学務課長	下田 裕久
17	委 員	つくば市教育局 健康教育課長	柳町 優子
18	委 員	つくば市教育局 教育施設課長	鈴木 聡
19	委 員	つくば市教育局 文化財課長	石橋 充
20	委 員	つくば市教育局 特別支援教育推進室長	中島 澄枝
21	委 員	つくば市教育局 生涯学習推進課長	澤頭 由紀子
22	委員以外 の出席者	国土技術政策総合研究所 主任研究官	長屋 和宏

地域との連携による学校の防災力強化推進事業の概要

資料 1

- 1 目的 大規模地震等の災害に対する児童生徒の防災対応能力の向上及び学校の防災体制を充実させるため、学校と地域の連携を推進し、防災力の強化を図る。

2 組織と事業内容

組織	学校防災推進委員会	学校防災連絡会議
目的	学校防災推進委員会を設置し、組織的に学校及び地域の連携を図り、防災力強化を推進する。 防災推進委員会が中心となり、市町村内の教職員を対象に防災に関する研修会を実施し、教員の資質の向上及び実践力の育成を図る。	学校を単位として、地域と連携した避難訓練や外部講師を活用した防災教室等を実施することで、児童生徒や地域住民の能力や実践的な態度の育成を図る。
構成員	教育委員会、防災主管課、市民活動主管課、学校関係者、消防等	教職員、地域の自主防災組織関係者、防災ボランティア団体、PTA等
事業内容 (例)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校防災推進委員会の開催 ・学校防災研修会の開催 ・学校防災手帳の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練 地域・防災関係者等と連携した避難訓練（初期対応、消火、引き渡し、避難所開所） ・防災教室 外部講師による防災に関する知識を深めるための講話等 ・体験活動 避難所体験、防災マップづくり等

(設置)

第1条 大規模地震等の災害に対する児童等の防災対応能力の向上及び学校の防災体制の充実を適切かつ効果的に推進するため「つくば市学校防災推進委員会」(以下「推進委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 推進委員会は、次の各号に掲げる事項を協議する。

(1) 学校防災推進のために必要な次に掲げる施策等の連絡・調整に関すること。

ア 学校の防災教育の充実

イ 地域と連携した防災教育の展開

ウ 学校の防災体制の整備・充実

エ 避難所運営等に係る学校、地域と防災担当部局との連携強化

(2) その他会長が必要と認める事項に関すること。

(組織及び運営)

第3条 推進委員会は、教育長を会長、教育局長及びつくば市学校長会長を副会長とし、別表1に掲げる職にある者を委員として構成する。

2 会長は、必要に応じ推進委員会を招集し、会議の議長となる。

3 会長に事故あるとき又は欠けたときは、副会長がその職務を代理する。

4 会長は、必要があると認めたときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(ワーキングチーム)

第4条 推進委員会の所掌事項に関する事項について調査検討をさせるため、推進委員会のもとに「つくば市学校防災ワーキングチーム」(以下「ワーキングチーム」という。)を置くことができる。

2 ワーキングチームは、次長(教育総務課、学び推進課担当)をリーダー、教育

総務課長及び学び推進課長をサブリーダーとし、別表2に掲げる職にある者をメンバーとして構成する。

3 リーダーは、必要に応じワーキングチームを招集し、会議の議長となる。

4 リーダーに事故あるとき又は欠けたときは、サブリーダーがその職務を代理する。

5 リーダーは、必要があると認めたときは、メンバー以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

6 リーダーは、ワーキングチームにおける調査検討が終了したとき又は会長から求められたときは、調査検討の結果又は必要な事項を会長に報告しなければならない。

(庶務)

第5条 推進委員会及びワーキングチームの庶務は、教育総務課及び学び推進課において処理する。

(委任)

第6条 この要項に定めるもののほか、推進委員会の運営に関して必要な事項は、会長が定める。

附 則

この要項は、平成24年7月17日から施行する。

附 則

この要項は、平成27年5月12日から施行する。

附 則

この要項は、平成28年6月13日から施行する。

附 則

この要項は、平成29年5月22日から施行する。

附 則

この要項は、平成30年5月14日から施行する。

附 則

この要項は、令和元年6月6日から施行する。

附 則

この要項は、令和4年6月3日から施行する。

(別表1)

つくば市学校防災推進委員会

会長	教育長
副会長	教育局長、つくば市学校長会長
委員	<ul style="list-style-type: none">・教育局教育総務課担当次長、教育総務課長、学び推進課長、学務課長、教育施設課長、健康教育課長、特別支援教育推進室長、生涯学習推進課長、文化財課長・つくば市学校長会小学校部会長、中学校部会長・つくば市幼稚園長会長・つくば市PTA連絡協議会代表者・市長公室危機管理課長・市民部市民活動課長・消防本部地域消防課長・こども部こども育成課長

(別表2)

つくば市学校防災ワーキングチーム

リーダー	教育局次長（教育総務課、学び推進課担当）
サブ リーダー	教育総務課長、学び推進課長
メンバー	<ul style="list-style-type: none">・教育局 企画監、教育総務課担当、学び推進課担当、総合教育研究所長、学務課担当、教育施設課担当、健康教育課担当、 特別支援教育推進室担当、生涯学習推進課担当、文化財課担当・つくば市立小学校教頭、中学校教頭・市長公室危機管理課担当・つくば市社会福祉協議会事務局担当

○令和3年度（2021年度）の事業報告（推進委員会）

資料3

① 第1回学校防災推進委員会（書面審査）

内 容：令和2年度（2020年度）の学校防災事業について
令和3年度（2021年度）の学校防災事業計画について

② 第2回学校防災推進委員会（令和4年3月8日開催）

内 容：令和3年度（2021年度）の学校防災事業について
その他

③ 学校防災研修会（令和3年12月17日開催）

国土交通省国土技術政策総合研究所 長屋和宏氏による講演
演題 「学校防災について」

④ 学校防災手帳作成

谷田部小、沼崎小、桜並木学園で作成

	学園名	学校名	①日程	②内容	③参加者	④講師等	⑤備考
1	大穂学園	大穂中学校 大曾根小学校 前野小学校 要小学校 吉沼小学校	2021年5月	取組名 大穂学園合同引き渡し訓練 取組の説明 大地震を想定し、学校職員から引き渡し名簿に記載されている者に、児童生徒を確実に引き渡す訓練をする。	各校全児童生徒及び保護者・教職員 地域防災連絡委員 合計2,000名	なし	中止
			2021年8月	取組名 大穂学園防災連絡会議 取組の説明 地域防災について行政説明と避難所開設演習を通して、防災意識を高め協力体制の在り方について協議する。	地域防災連絡委員 学校PTA役員・教職員 合計85名	つくば市市長公室 危機管理課 職員 くすのき会会長（つくば市議会議員・防災士）小野 泰宏様	中止
2	豊里学園	豊里中学校 沼崎小学校 今鹿島小学校 上郷小学校	2021年4月	豊里学園今鹿島小学校 避難訓練 ・避難経路確認	児童・教職員	なし	
			2021年4月	豊里学園上郷小学校 避難訓練 ・避難経路確認	児童・教職員	なし	
			2021年4月	豊里学園豊里中学校 避難訓練（火災） ・避難経路の確認 ・消火器の使用法	生徒・教職員	豊里消防署員2名	
			2021年5月	豊里学園今鹿島小学校 通学路点検	教職員・PTA	なし	
			2021年7月	豊里学園沼崎小学校 学校防災手帳作成	教職員	国土技術政策総合研究所 長屋先生	
			2021年8月	豊里学園沼崎小学校 防災マップ作り	4年生 6年生	なし	
			2021年9月	豊里学園豊里中学校 防災教室 ・防災倉庫、見学・点検	生徒・教職員	なし	
			2021年11月	豊里学園上郷小学校 防災教室 ・煙体験	6年生	なし	
			2022年2月	豊里学園沼崎小学校 防災教室	6年生	国土技術政策総合研究所 長屋先生（オンライン）	
			2022年2月	豊里学園防災推進委員会 大地震を想定した引き渡し訓練 実施計画作成	学園教頭4名 学園教務主任4名	なし	
2022年3月	豊里学園小中学校 大地震を想定した引き渡し訓練	児童生徒・教職員	なし				
3	輝翔学園	谷田部東中学校 小野川小学校 二の宮小学校 東小学校	2021年11月	取組名 東小学区防災連絡会議 取組の説明 学校と地域が連携して防災力を高めるための会議を行い、組織作りと研修（講演・防災倉庫見学）を実施した。	東小学区防災連絡会会員 合計20名	国土交通省国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路地震防災研究室 主任研究官 長屋 和宏 先生	

	学園名	学校名	①日程	②内容	③参加者	④講師等	⑤備考
4	高山学園	高山中学校 真瀬小学校 島名小学校	2021年4月	取組名 避難訓練 取組の説明 ・非常災害時の安全な緊急避難の訓練。避難経路確認、火災や竜巻想定、などより実践的に実施した。学校での実践をHP等で保護者に発信し、地域の協力を得ながら防災について考える場とした。	真瀬小 児童 133名 職員20名	なし	
			2021年6月	取組名 学園合同引き渡し訓練 取組の説明 ・学園内で、災害時における保護者引き渡しを想定し、訓練を行うとともに、通学路等における危険箇所のチェックを行う。	高山中 真瀬小 保護者約100名 児童133名 島名小 保護者約500名 児童約750名	高山中 なし 真瀬小 消防団 島名小 なし	
			2021年12月	取組名 避難訓練 取組の説明 ・非常災害時の安全な緊急避難の訓練。学校での実践をHP等で保護者に発信した。また、年度末の学校評議委員で実施の報告をし、防災についての御指導をいただいた。	高山中 生徒316名 職員26名	なし	
			2022年3月	取組名 マイ防災バックづくり 取組の説明 ・つくばスタイル科の時間を活用し、児童自身が考えた防災バッグの中身を学校に持ちより、災害時に必要なものを検討し「マイ防災バッグ」づくりを行う。	島名小 児童130名 職員4名	なし（外部講師を予定していたが、コロナ禍の影響で、校内でのみの実施となった）	
5	光輝学園	手代木中学校 葛城小学校 手代木南小学校 松代小学校	2021年5月	【取組名】 光輝学園合同引き渡し訓練 【取組の説明】 各校にて地震避難訓練を実施後、保護者に児童生徒を引き渡す訓練を実施。保護者は小学校→中学校と移動。	葛城小・松代小・手代木南小・手代木中学校	なし	
			2021年7月	【取組名】 第1回光輝学園学校防災連絡会議 【取組の説明】 講話「防災とは」、各校地区委員長による情報交換、葛小コミュニティ・スクールより	葛城小・松代小・手代木南小・手代木中学校(校長・教頭・教務・保健主事)、各校地区委員長、本部役員、区長、民生委員、消防団 合計 約50名	国土交通省 国土技術政策 総合研究所 道路地震防災 研究室 長屋 和宏 様	
			2021年12月	【取組名】 第2回光輝学園学校防災連絡会議 【取組の説明】 ワークショップ「避難所開設について」、各校地区委員長による危険箇所対応の確認	葛城小・松代小・手代木南小・手代木中学校(校長・教頭・教務・保健主事)、各校地区委員長、本部役員、区長、民生委員、消防団 合計 約50名	国土交通省 国土技術政策 総合研究所 道路地震防災 研究室 長屋 和宏 様	

	学園名	学校名	①日程	②内容	③参加者	④講師等	⑤備考
6	洞峰学園	谷田部東中学校 小野川小学校 二の宮小学校 東小学校	2021年11月	取組名 東小学区防災連絡会議 取組の説明 学校と地域が連携して防災力を高めるための会議を行い、組織作りと研修（講演・防災倉庫見学）を実施した。	東小学区防災連絡会会員 合計20名	国土交通省 国土技術政策 総合研究所 道路地震防災 研究室 長屋 和宏 様	
7	桜学園	桜中学校 栄小学校 九重小学校 栗原小学校	2021年5月	桜学園合同防災訓練及び児童生徒引き渡し訓練 14時に地震が発生した想定でメールを配信し、学園一斉に引き渡し訓練を行う	児童生徒、保護者、教職員 合計 約2,000名		
			2021年5月	第1回桜学園学校防災連絡会議（役員会） 各校のPTA会長と教職員による役員会を開き、規約の確認や今後の活動計画について協議を行う	各校PTA会長、教職員 合計 20名		
			2021年8月	第2回桜学園学校防災連絡会議（講演会） 「コロナ禍における避難行動と避難生活」という演題で、ZOOMによる講演会を行った。	各地区区長、民生委員、地区パトロール関係者、各校教職員、PTA会長 合計 約120名	立教大学 教授 長坂 俊成 様	
8	竹園学園	竹園東中学校 竹園東小学校 竹園西小学校	2021年5月	竹園学園防災訓練（引き渡し訓練） ・学園同時開催。地震を想定して、校庭に避難。その後、保護者等へ生徒を引き渡す。兄弟姉妹がいる家庭は小学校へ引き取りに行く。	学園児童生徒、教職員、保護者 合計 約3,800名	なし	
			2021年12月	竹園学園学校防災連絡会議 ・学園3校をオンラインで結び、講師の講話を聞いた後、各校の防災倉庫を見学する。	民生委員、区長、教職員、PTA本部役員 合計36名	国土交通省 国土技術政策 総合研究所 道路地震防災 研究室 長屋 和宏 様	
9	桜並木学園	並木中学校 並木小学校 桜南小学校	2021年12月	桜並木学園地域防災連絡会議	PTA・区会関係者等	国総研 長屋先生	リモート会議

	学園名	学校名	①日程	②内容	③参加者	④講師等	⑤備考
10	秀峰筑波義務教育学校	秀峰筑波義務教育学校	2021年4月	避難訓練 ・竜巻を想定した訓練 ・地震を想定した訓練 ・火災を想定した訓練	・学校教職員、児童、生徒、合計 1,166名		
			2021年7月	避難訓練及び引き渡し訓練 ・保護者引き渡し訓練 ・防災に関する学習 ・地区児童生徒会	・学校教職員、児童、生徒、合計 1,166名		新型コロナウイルス感染症の影響により1年生のみ引き渡し訓練
			2021年10月	シェイクアウト訓練	・学校教職員、1～6学年児童、合計 762名		新型コロナウイルス感染症の影響により期日変更で実施
			2021年12月	避難訓練(不審者)	なし		新型コロナウイルス感染症の影響により実施せず
11	吾妻学園	吾妻中学校 吾妻小学校	2021年12月	取組名：吾妻学園学校防災連絡会議 取組の説明：本年度の吾妻学園防災について協議	地区代表、民生委員、交番所長、消防団代表、児童館長、幼稚園・保育園長、PTA代表、教職員 合計30名	国土交通省 国土技術政策 総合研究所 道路地震防災 研究室 長屋 和宏 様	
			2022年3月	取組名：防災キャンプ 取組の説明：学校を避難所と想定してキャンプを行い、避難所生活の体験と防災学習を行う。(おやじの会主催、希望者参加)	吾妻学園小中学生、保護者、地域有識者 合計100名	吾妻学園 おやじの会	
12	茎崎学園	茎崎中学校 茎崎第二小学校 茎崎第三小学校	2021年6月	取組名 茎崎学園合同避難訓練、引き渡し訓練 取組の説明 震度7の地震が発生し、その後家屋の倒壊や火災の発生を想定し、学園三校合同で避難訓練と引き渡し訓練を行う。	茎崎学園の児童・生徒、教職員・保護者・地域住民 約900人	茎崎地区民生委員 学校評議員	
			2021年11月	取組名 茎崎学園学校防災連絡会議 取組の説明 6月11日の合同引き渡し訓練の検証と最新の防災対策についての知識を深めるとともに、災害時の地域防災のあり方についての共通理解を図る。	各校三者、消防署長、PTA本部役員、学校評議員、幼稚園長、保育所長、民生委員、児童委員、区長 約50人	防災科学技術研究所 所員 池田 真幸 消防署長 岩田 康彦	
			2021年12月	取組名 茎崎第三小学校土砂災害対応避難訓練 取組の説明 震度7の地震による校舎裏のり面崩壊を想定し、茎崎中学校への2時避難までの訓練を行う。	茎崎第三小学校の児童・教職員	なし	
			2022年2月	取組名：高崎学園防災連絡会議 取組の説明：今年度の避難訓練の検証と、防災に関する情報交換や高崎地区家庭用掲示物に関する意見交換・防災倉庫点検	各学校防災会議委員、PTA代表、区長及び民生委員の代表、地域の防災担当者、茎崎交番、消防署員等 約30名	なし	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、関係者への資料送付のみ

	学園名	学校名	①日程	②内容	③参加者	④講師等	⑤備考
13	春日学園 義務教育学校	春日学園 義務教育学校	2021年6月				引渡し訓練を検討していたが中止
14	みどりの学園 義務教育学校	みどりの学園義務教育学 校	2021年5月	取組名 地域安全会議 取組の説明 ・登下校時の安全の協議 ・立証場所、担当者の確認	・地域代表者20名 ・職員2名	・横断旗配布	
			2021年9月	取組名 避難訓練 取組の説明 ・シェイクアウト訓練に伴う避難訓練	・児童生徒約1600名 ・職員約70名	・CDによる避難訓練の実施	
			2021年11月	緊急地震速報訓練 取組の説明 ・事前指導 ・動画による緊急地震速報訓練 ・振り返りカードによる振り返り	・児童生徒約1600名 ・職員約70名	・動画による緊急地震速報訓練の実施	
			2021年12月	取組名 火災発生時の避難訓練 取組の説明 ・事前説明 ・火災を想定した避難訓練	・児童生徒約1600名 ・職員約70名	・火災を想定した避難訓練の実施	

	学園名	学校名	①日程	②内容	③参加者	④講師等	⑤備考
15	学園の森義務教育学校	学園の森義務教育学校					引渡し訓練を検討していたが中止
16	高崎学園	高崎中学校 荃崎第一小学校	2021年6月	取組名 高崎学園合同引き渡し訓練 取組の説明 大規模災害（地震）を想定した学園内の幼小中合同の引き渡し訓練	幼児、児童、生徒、教職員、保護者、区長 合計約1,100名	なし	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、未実施
			2021年11月	取組名：荃崎第一小 避難訓練（不審者） 取組の説明：不審者が敷地内に侵入した想定で避難訓練を行う。警察署から講師を招き、防犯教室を行う。 取組名：高崎中 避難訓練（不審者） 取組の説明：不審者が敷地内に侵入した想定で避難訓練を行う。警察署から講師を招き、防犯教室を行う。	荃崎第一小学校児童 全職員 約620名 高崎中学校 全生徒325名 全職員24名	つくば市警察署 学校安全サポーター 生活安全課	新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止
			2022年1月	取組名：荃崎第一小 防災マップづくり 取組の説明：防災マップづくりを通して、防災に対する意識の高揚を図る。 取組名：荃崎第一小 防災バックづくり 取組の説明：防災バックづくりを通して、外部講師から授業を受け、防災意識を高める。	荃崎第一小 第5学年 児童103名 第3学年 児童93名 高崎中学校 第9学年 生徒106名	国土交通省 国土技術政策総合研究所 研究室 長屋 和宏 様	
			2022年2月	取組名：高崎学園防災連絡会議 取組の説明：今年度の避難訓練の検証と、防災に関する情報交換や高崎地区家庭用掲示物に関する意見交換・防災倉庫点検	各学校防災会議委員、PTA代表、区長及び民生委員の代表、地域の防災担当者、荃崎交番、消防署員等 約30名	なし	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、関係者への資料送付のみ

令和3年度 学校防災実施計画書(学校単位の取組)

資料5

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
大曾根小学校	2021年4月	避難訓練(引渡し訓練を含まない)	教職員・全校生徒	新学期始まってすぐに避難訓練を行うことにより、避難経路の確認と身を守るための行動を意識し、適切な行動をとることができた。
	2021年5月	つくばスタイル科以外での防災に係る授業	6年生	社会「震災復興の願いを実現する政治」では、震災に対する政治の働きを理解できた。
	2021年5月	その他の学校防災に係る取組	教職員・全校生徒・地域の方々	引き渡し訓練を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、実施できなかった。学校防災連絡会のみ実施した。
	2021年6月	つくばスタイル科以外での防災に係る授業	6年生	国語「防災ポスターを作ろう」では、防災ポスターを作り、防災の意識が深まった。
	2021年8月	PTA・学校サポーター組織の学校防災に係る取組	教職員・地域の方々	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため実施しなかった。
	2021年9月	避難訓練(引渡し訓練を含まない)	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、実施できなかった。
	2021年9月	つくばスタイル科以外での防災に係る授業	4年生	社会科「自然災害からくらしを守る」では、自助・共助・公助について考えたり、避難所シミュレーションについて学んだりして、防災への理解と意識が高まった。
	2021年11月	授業・訓練時以外での防災に係る取組	1年生	警察の方から、非行防止と防犯についてお話を聞いた。どのように身を守ったらよいか考えて聞くことができた。
	2021年11月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	防災マップの作成をし、発表することで防災の意識が高まった。
	2021年12月	つくばスタイル科以外での防災に係る授業	3年生	社会「くらしを守る」で、防災・防犯マップについて学び、登下校の際に注意して行動するようになった。

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
	2022年1月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	不審者に対する避難訓練を警察の方を招いて実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、講師なしで実施した。不審者が来た時の合言葉やどのように身を守ったらよいかを確認し、防災への意識の向上と知識を習得することができた。
	2022年2月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	防災バックについて学ぶことにより、防災の意識が高まると考えられる。
前野小学校	2021年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第1回避難訓練
	2021年5月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	学園合同引き渡し訓練（避難訓練のみ実施）
	2021年7月	PTA・学校サポーター組織の学校防災に係る取組	教職員・地域の方々	地域連絡防災会議
	2021年7月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	授業「地域の危険個所について」
	2021年8月	その他の学校防災に係る取組	教職員・地域の方々	学園防災会議（コロナ感染防止のため中止）
	2021年10月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	つくばスタイル科防災マップづくり
	2021年11月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	緊急地震速報の訓練
	2021年11月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	校外学習「防災マップをつくろう」取材
	2022年2月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	事前連絡なし「避難訓練」

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
要小学校	2021年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第1回（地震・火災）
	2021年7月	教職員研修	教職員	防災啓発ビデオ「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう」被害編・解説編の視聴および児童対応について
	2021年7月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第2回（シェイクアウト訓練）
	2021年8月	教職員研修	教職員	オンラインによる心肺蘇生・AED研修（講師：立川様）
	2022年1月	つくばスタイル科（その他の授業・取組）	5年生	
吉沼小学校	2021年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	避難経路確認（火災）
	2021年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練（放送による）
	2021年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	避難経路確認（地震）
	2021年11月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	地域の方（地区長さん・保護者）も一緒に現地調査実施
	2022年1月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
沼崎小学校	2021年7月	学校防災手帳作成	教職員	国土技術政策総合研究所 長屋様との打合せ 第1回
	2021年8月	つくばスタイル科 防災マップ作成	6年生	家の周辺調査（夏休み中）
	2021年9月	つくばスタイル科 防災マップ作成	6年生	スタディノートで作成
	2021年11月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	4年生	スタディノートで作成
	2021年12月	学校防災手帳作成	教職員	国土技術政策総合研究所 長屋様との打合せ 第2回
	2022年2月	防災教室	6年生	国土技術政策総合研究所 長屋先生の講演を聴講（オンライン）

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
今鹿島小学校	2021年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	避難経路確認
	2021年5月	PTA・学校サポーター組織の学校防災に係る取組	その他	通学路点検
	2021年10月	PTA・学校サポーター組織の学校防災に係る取組	その他	通学路点検
上郷小学校	2021年4月	その他の学校防災に係る取組	教職員・全校生徒	避難経路確認
	2021年11月	防災教室	6年生	煙体験
谷田部小学校	2021年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第1回 各学年での実施で、避難経路の確認を行った。
	2021年5月	学校防災手帳作成	5年生	
	2021年9月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
	2022年1月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第2回 シェイクアウト訓練と不審者対応訓練を行った。
谷田部南小学校	2021年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	避難経路の確認のみ
	2021年11月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	地震からの火災想定（昼休みに実施：当日予告なし）
	2022年1月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
	2022年1月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
真瀬小学校	2021年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	・非常災害時の安全な緊急避難の訓練。避難経路確認、火災や竜巻想定、などより実践的に実施した。学校での実践をHP等で保護者に発信し、地域の協力を得ながら防災について考える場とした。
	2021年5月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
島名小学校	2022年3月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	取組名 マイ防災バックづくり 取組の説明 ・つくばスタイル科の時間を活用し、児童自身が考えた防災バッグの中身を学校に持ち寄り、災害時に必要なものを検討し「マイ防災バッグ」づくりを行う。
葛城小学校	2021年4月	授業・訓練時以外での防災に係る取組	教職員・全校生徒	各学年避難経路確認
	2021年5月	授業・訓練時以外での防災に係る取組	教職員・全校生徒	地震避難訓練（引き渡し訓練の日に実施）
	2021年10月	授業・訓練時以外での防災に係る取組	5年生	防災マップづくり（10月～12月）
	2021年11月	その他の学校防災に係る取組	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
	2022年1月	授業・訓練時以外での防災に係る取組	教職員・全校生徒	不審者避難訓練
	2022年1月	防災教室	4年生	葛城版コミュニティ・スクール企画、防災かまどの火入れ、危機管理課による防災倉庫物品説明
	2022年2月	授業・訓練時以外での防災に係る取組	3年生	防災バックづくり

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
柳橋小学校	2021年11月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	竜巻に対する避難訓練
	2022年1月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	火災に対する避難訓練
	2022年1月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
	2022年2月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
小野川小学校	2021年10月	防災教室	教職員・全校生徒・地域の方々	防災士を招き、日常的な災害への取り組みや防災バックについての見直しなどを親子で行った。
手代木南小学校	2021年5月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第1回（地震・火災）
	2021年5月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒・地域の方々	第2回（学園合同引渡し訓練 地震）
	2022年1月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第3回（地震）
	2022年2月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第4回（不審者侵入） 2月22日実施
	2022年2月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
	2022年3月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
松代小学校	2021年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第1回（地震による避難訓練）
	2021年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第3回（竜巻による避難訓練）
	2021年10月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	10月から12月にかけて作成
	2021年11月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第5回（地震から火災の発生による避難訓練）
	2021年11月	つくばスタイル科以外での防災に係る授業	6年生	学級活動で避難の仕方について考える授業を行う
二の宮小学校	2021年5月	防災教室	教職員・全校生徒・地域の方々	保護者450人が参加し、地域の防災意識の向上を図った。
	2021年6月	つくばスタイル科 防災マップ作成	3年生	防災士を講師とし、シミュレーション・講話・防災倉庫について学習した。
	2021年9月	つくばスタイル科 防災マップ作成	4年生	学区の防災マップ作成
栄小学校	2021年12月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
	2021年12月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
九重小学校	2021年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2021年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2022年1月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
桜南小学校	2021年5月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2021年9月	つくばスタイル科 防災マップ作成	6年生	
	2021年11月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2022年2月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
栗原小学校	2021年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	火災が起きた想定での避難訓練
	2021年7月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	不審者が校内に侵入した想定での避難訓練
	2021年9月	教職員研修	教職員	洪水時の避難時を想定して避難場所まで実際に歩く
	2021年10月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	竜巻が発生した想定での避難訓練
	2021年11月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
	2021年11月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	防災バックの中身を考え、発表し合う
	2022年1月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	担当地区を決めて、地区内の危険個所をグループで話し合う
竹園東小学校	2021年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第1回
	2021年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第2回
竹園西小学校	2021年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第1回校内避難訓練
	2021年11月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第2回校内避難訓練
	2021年12月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	教職員・全校生徒	防災士の方の講話を聴講した。

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
並木小学校	2021年10月	その他の学校防災に係る取組	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
	2021年11月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2022年1月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2022年2月	つくばスタイル科（その他の授業・取組）	5年生	防災手帳作成
吾妻小学校	2021年10月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
	2021年11月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	全校生徒	
	2022年1月	教職員研修	教職員	市の防災研修（オンライン）の講演の聴講
	2022年2月	防災教室	1年生	防災手帳の配布
	2022年2月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
荃崎第一小学校	2021年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	地震想定での避難訓練を実施。避難場所の確認（校庭）
	2021年4月	教職員研修	教職員	学校の防犯状態の確認（防犯カメラの位置、敷地内に進入できる場所の確認等）
	2021年11月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
	2021年11月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	火災想定での避難訓練を実施。また荃崎消防署の協力を得て、消火器の使い方および消化訓練を実施
	2021年12月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	3年生	外部講師（防災科学研究所）から天災被害からの防災について学んだ
	2021年12月	つくばスタイル科以外での防災に係る授業	異学年交流	低学年児童対象の荃崎交番職員による地域防災の講話およびパトカー等の見学
	2022年2月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
荃崎第二小学校	2021年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	火災
	2022年1月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	地震
荃崎第三小学校	2021年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	危機管理マニュアルの確認等
	2021年10月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	避難経路の確認
	2022年2月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	学園合同引き渡し訓練
東小学校	2021年9月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	長屋様を講師としてマイ防災バックを作った。
	2021年10月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	長屋様を講師として講演と防災マップ作成
	2021年11月	その他の学校防災に係る取組	教職員・地域の方々	地域との連携による学校防災会議 長屋様を講師として講演・演習・防災倉庫見学
大穂中学校	2021年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練 簡潔に実施した。
	2021年10月	つくばスタイル科（その他の授業・取組）	8年生	応急手当学習 災害発生時を想定して、傷害が発生した際に、迅速で適切な応急手当について学んだ。
	2021年10月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第2回避難訓練（地震対応）授業場所から避難場所への経路の確認した。
豊里中学校	2021年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	避難経路確認
	2021年9月	防災教室	教職員・全校生徒	防災倉庫 見学・点検

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
谷田部中学校	2021年5月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2021年5月	つくばスタイル科（その他の授業・取組）	8年生	
	2021年10月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2022年2月	授業・訓練時以外での防災に係る取組	教職員・全校生徒	
高山中学校	2021年12月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	非常災害時の安全な緊急避難の訓練。学校での実践をHP等で保護者に発信した。また、年度末の学校評議委員で実施の報告をし、防災についての御指導をいただいた。
手代木中学校	2021年5月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第1回（地震・火災）
	2021年5月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒・地域の方々	第2回（学園合同引渡訓練 地震）
	2021年11月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第3回（地震）
桜中学校	2021年5月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
谷田部東中学校	2021年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	全校生徒	
並木中学校	2021年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2021年12月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
吾妻中学校	2021年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	7年生	学年による避難訓練
	2021年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	8年生	学年による避難訓練
	2021年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	9年生	学年による避難訓練
	2021年5月	つくばスタイル科 講話等の聴講	8年生	国総研 長屋和宏様の講話をZOOMで聴講（防災学習）
	2021年11月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	全国緊急地震速報の訓練
荃崎中学校	2021年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第1回（火災）
	2021年10月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2022年2月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
高崎中学校	2021年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	避難経路について
	2021年5月	教職員研修	教職員	危機管理マニュアルについて
	2021年6月	つくばスタイル科（その他の授業・取組）	9年生	「避難所で私たちにできることは！」
	2021年7月	つくばスタイル科（その他の授業・取組）	9年生	「避難所で私たちにできることは！」
	2021年12月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	不審者対応について
竹園東中学校	2021年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
	2021年10月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	竜巻を想定した訓練
	2021年10月	教職員研修	教職員	防災・避難訓練についての研修
	2022年2月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	全校生徒	不審者を想定した避難訓練（学年別に学活等で実施）

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
春日学園義務教育学校	2021年12月	つくばスタイル科 講話等の聴講	3年生	
	2021年12月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
学園の森義務教育学校	2021年5月	つくばスタイル科以外での防災に係る授業	1年生	学級活動において、地震や火災の際の避難方法や避難経路について確認した。
	2021年9月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	つくばスタイル科において、防災バッグに必要なものを検討した。
	2021年9月	つくばスタイル科以外での防災に係る授業	4年生	社会科の授業において災害に備える工夫について学習した。
	2021年9月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	つくばスタイル科のカリキュラムに沿って、9～12月に実施。内容は自分の住んでいる地域の防災マップづくり。
	2021年9月	つくばスタイル科（その他の授業・取組）	6年生	つくばスタイル科において、家にある防災グッズを『いばらき防災ハンドブック2021』と照らし写真を撮り、Teamsに投稿した。
	2022年1月	つくばスタイル科 防災マップ作成	8年生	つくばスタイル科において「災害時の避難所について考える」を実施
	2022年2月	つくばスタイル科以外での防災に係る授業	9年生	理科の授業において、自然災害への対策について学習した。

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
秀峰筑波義務教育学校	2021年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第1回
	2021年7月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第2回 1年生のみ引き渡し訓練
	2021年10月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第3回
	2021年10月	つくばスタイル科以外での防災に係る授業	6年生	
	2021年11月	つくばスタイル科以外での防災に係る授業	5年生	
	2021年12月	つくばスタイル科以外での防災に係る授業	8年生	マイ・タイムライン作成
	2022年1月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
みどりの学園義務教育学校	2021年5月	PTA・学校サポーター組織の学校防災に係る取組	教職員・地域の方々	・横断旗配布
	2021年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	・CDによる避難訓練の実施
	2021年10月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	・動画による緊急地震速報訓練の実施
	2021年12月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	・火災を想定した避難訓練の実施
	日程不明	教職員研修	教職員	・職員会議等の時間を利用し実施

○令和 4 年度の学校防災事業計画（推進委員会）

① 第 1 回学校防災推進委員会（6/27）

内 容：令和 3 年度（2021年度）の学校防災事業について
令和 4 年度の（2022年度）の学校防災事業計画について

② 第 2 回学校防災推進委員会（令和 5 年 3 月開催予定）

内 容：令和 4 年度（2022年度）の学校防災事業について
その他

③ 学校防災研修会（令和 4 年度中に開催予定）

教職員・地域の方々を対象とした研修会を予定

④ 学校防災手帳作成

栗原小、前野小、柳橋小、学園の森義務教育学校で作成

学園名	学校名	①日程	②内容	③参加者	④講師等	⑤備考
大穂学園	大穂中学校 大曾根小学校 前野小学校 要小学校 吉沼小学校	2022年5月	取組名：学園合同引き渡し訓練 取組の説明：学年内5校同日に大地震が起こったという想定で引き渡し訓練を実施し、学園の防災意識を高める。	保護者、児童生徒（約1400名）、教職員、各校防災連絡会委員、PTA役員	なし	
		2022年5月	取組名：学校防災連絡会議（各小学校で実施） 取組の説明：学園合同引き渡し訓練の様子の参観、防災倉庫や避難場所の確認をもとに災害時の避難所設営に関する課題を情報交換する。	各校防災連絡会委員、区長・自治会長、消防団長、学校評議員、警察官（駐在所）、PTA役員	なし	
		2022年8月（予定）	取組名：学園防災連絡会議 取組の説明：講師の指導を受けて、学園としての防災力強化の在り方について認識を深める。各校実施の防災連絡会議での課題について、地域連携の避難訓練や避難所解説訓練について情報交換し、解決方法を探りながら防災について再確認する。	くすのき会役員、教職員、各校防災連絡会委員、区長・自治会長、消防団長、学校評議員、警察官（駐在所）、PTA役員	防災士 市危機管理課長	

学園名	学校名	①日程	②内容	③参加者	④講師等	⑤備考
豊里学園	豊里中学校 沼崎小学校 今鹿島小学校 上郷小学校	2023年2月（予定）	取組名 豊里学園学校防災連絡会議 取組の説明 今年度の防災事業に関する振り返りと情報交換	豊里学園推進委員	なし	
輝翔学園	谷田部中学校 谷田部小学校 谷田部南小学校 柳橋小学校	2022年10月、11月（予定）	取組名 地域防災連絡会議 取組の説明 ・学園の教職員代表者、区長、PTA関係者が柳橋小学校に集まり、市の担当者から危機管理の現状や避難所開設についての説明を受け、開設の役割分担等を協議する。 ・防災倉庫の備蓄品等の確認を行う。	・教職員代表者 (校長、教頭、教務主任等) ・学園内各区会の区長 ・PTA関係者（会長等）	つくば市危機管理課職員	
高山学園	高山中学校 真瀬小学校 島名小学校	2022年6月	取組名 学園合同引き渡し訓練 取組の説明 ・学園内で、災害時における保護者引き渡しを想定し、訓練を行うとともに、通学路等における危険個所のチェックを行う。	高山中 7年保護者役100名 生徒109名 真瀬小 保護者約100名 児童132名 島名小 保護者約500名 児童814名	高山中 なし 真瀬小 消防団 島名小 なし	
		2023年1月（予定）	取組名 地域防災連絡会議 取組の説明 ・評議員、PTA役員にも参加してもらい、防災事例を踏まえた講話を聞くことで学校と地域が情報を共有し、連携を深める。	高山中 P役員等12名 職員26名 真瀬小 P役員等6名 職員15名 島名小 P役員等10名 職員43名	未定	

学園名	学校名	①日程	②内容	③参加者	④講師等	⑤備考
光輝学園	手代木中学校 葛城小学校 手代木南小学校 松代小学校	2022年5月	取組名 学園合同引渡し訓練 取組の説明 光輝学園と一部の幼稚園が連携して引渡し訓練を行うことによって学園内児童・生徒・園児の安全確保と地域の防災意識の向上及び保護者への引き渡し法を確認する場とする。	手代木中 手代木南小 松代小 葛城小 手代木南幼		
		2022年7月（予定）	取組名 第1回光輝学園学校防災連絡会議 取組の説明 防災倉庫動画配信（Zoom） 情報交換	学校（校長・教頭・教務・保健主事）区長・民生委員・消防団等		Zoomで開催 ホスト校：手代木中
		2022年12月（予定）	取組名 第2回光輝学園学校防災連絡会議 取組の説明 講話「防災力について」 情報交換	学校（校長・教頭・教務・保健主事）区長・民生委員・消防団等	防災科学研究所	Zoomで開催 ホスト校：手代木中
洞峰学園	谷田部東中学校 小野川小学校 二の宮小学校 東小学校	2022年6月	取組名 洞峰学園合同引き渡し訓練 取組の説明 学園の小中学校で連携を図りながら、地震を想定した引き渡し訓練を行う。	教職員・学園全児童生徒・保護者	なし	

学園名	学校名	①日程	②内容	③参加者	④講師等	⑤備考
桜学園	桜中学校 栄小学校 九重小学校 栗原小学校	2022年5月	取組名 桜学園合同防災訓練及び児童生徒引き渡し訓練 取組の説明 地震を想定した学園合同の引き渡し訓練の練習	児童生徒、保護者、教職員		
		2022年5月	取組名 第1回桜学園学校防災連絡会議 取組の説明 規約確認、令和4年度の活動計画の確認	各校教職員、PTA会長		
		2022年8月（予定）	取組名 第2回桜学園学校防災連絡会議 取組の説明 講師を招聘し、講演を聞く	各地区区長、民生委員、地区パトロール関係ボランティア、各校教職員、PTA役員	立教大学教授 長坂俊成氏	
竹園学園	竹園東中学校 竹園東小学校 竹園西小学校	2022年5月	取組名 竹園学園防災訓練（引き渡し訓練） 取組の説明 地震を想定し、学園内3校引き渡し訓練を実施。中学校に兄弟がいる場合は、中学校から小学校に行く。	学園児童生徒、教職員、保護者 合計 4,000人	なし	近隣幼稚園も同日予定
		2022年9月（予定）	取組名 竹園学園防災連絡会議 取組の説明 各学校ごとに開催し、災害発生時の学校の対応について意見交換を行う。その後、学園内で情報の共有を行う。	教職員、PTA本部役員、民生委員、区長、危機管理課、他	危機管理課から講師を招く	

学園名	学校名	①日程	②内容	③参加者	④講師等	⑤備考
桜並木学園	並木中学校 並木小学校 桜南小学校	2022年9月（予定）	合同引き渡し訓練 ・同日同時間に保護者への引き渡し訓練を行う。	・学園内児童生徒並びに保護者	なし	
		未定	桜並木学園地域防災連絡会議 ・災害時に行政・学校・地域住民が具体的にどのような連携を図るかの確認する。	・PTA・区会関係者等	・つくば市危機管理課 担当者および防災士	
秀峰筑波義務教育学校	秀峰筑波義務教育学校	2022年4月	避難訓練 ・火災を想定した訓練	・学校教職員 ・児童、生徒	なし	
		2022年7月（予定）	引き渡し訓練 ・保護者引き渡し訓練 ・防災に関する学習 ・地区児童生徒会	・学校教職員 ・児童、生徒、保護者 ・PTA(地区委員) ・学校ボランティア	・筑波北消防署予定 ・北警察センター職員予定	
		2022年9月（予定）	シェイクアウト訓練	・1～6学年児童 ・学校教職員	・なし	
		2022年12月（予定）	避難訓練(不審者)	・学校教職員 ・児童、生徒、保護者	・北警察センター職員予定	

学園名	学校名	①日程	②内容	③参加者	④講師等	⑤備考
吾妻学園	吾妻中学校 吾妻小学校	2022年5月	取組名：小中学校避難訓練，学園引渡訓練 取組の説明：地震・火災を想定した避難訓練を実施。その後，保護者への引渡訓練を小中合同で実施。	児童，生徒，教職員，保護者 合計1,500名		
		2022年9月（予定）	取組名：防災キャンプ 取組の説明：学校を避難所と想定してキャンプを行い，避難所生活の体験と防災学習を行う。（おやじの会主催，希望者参加）	吾妻学園小中学生，保護者，地域有識者 合計100名	吾妻学園 おやじの会	
		2022年11月（予定）	取組名：吾妻学園学校防災連絡会議 取組の説明：本年度の吾妻学園防災について協議 ※CS推進委員会と兼ねる	吾妻学園CS推進委員計25名		
荃崎学園	荃崎中学校 荃崎第二小学校 荃崎第三小学校	2022年6月	取組名：地震と火災に対応した小中合同避難訓練 取組の説明：震度7の地震発生と、それに伴う建物倒壊や火災を想定し、学園合同で避難訓練及び引き渡し訓練を行う。	児童・生徒 教職員 保護者 地域住民	なし	
		2022年11月（予定）	取組名：荃崎学園学校防災連絡会議 取組の説明：講師を招聘し、防災に関する講話や情報交換を行い地域の防災について共通理解を図る。	教職員 保護者 各区長 学校評議員 民生委員 等	防災研究所職員	

学園名	学校名	①日程	②内容	③参加者	④講師等	⑤備考
春日学園 義務教育学校	春日学園 義務教育学校	2022年5月	取組名 避難訓練及び引き渡し訓練 取組の説明：マグニチュード7.4の地震を想定した避難訓練	全児童生徒、教職員	特になし	
		2022年9月（予定）	取組名 避難訓練 取組の説明：シェイクアウト訓練に合わせた避難訓練	全児童生徒、教職員	特になし	
		2022年9月（予定）	取組名 避難訓練 取組の説明：不審者の侵入を想定した避難訓練	全児童生徒、教職員	特になし	

学園名	学校名	①日程	②内容	③参加者	④講師等	⑤備考
みどりの学義 務教育学校	みどりの学義務教育学校	2022年5月	取組名 地域安全会議 取組の説明 ・登下校時の安全の協議 ・立証場所、担当者の確認		・地域代表者20名 ・職員2名	
		2022年7月（予定）	取組名 避難訓練 取組の説明 ・シェイクアウト訓練に伴う避難訓練		・児童生徒約1900名 ・職員約80名	
		日程検討中	取組名 引渡訓練 取組の説明 ・大地震想定での避難訓練 ・保護者への引渡訓練		・実施学年については検討中 ・参加保護者未定 ・職員80名	
		日程検討中	取組名 避難訓練、防災教室 取組の説明 ・消防署の方を講師とした防災教室		・児童生徒約1900名 ・職員約80名	

学園名	学校名	①日程	②内容	③参加者	④講師等	⑤備考
学園の森義務 教育学校	学園の森義務教育学校	2022年4月	第1回避難訓練 地震後火災発生を想定した避難訓練	学園児童生徒 2242名 教職員145名	なし	
		2022年5月	第2回避難訓練（1～9年）・引き渡し訓練 （1～6年） 様々な災害を想定した避難経路の確認および保護者への引き渡し	学園児童生徒 2242名 教職員145名 保護者・児童館	なし	
		2022年12月（予定）	第3回避難訓練 不審者を想定した避難訓練	学園児童生徒 2242名 教職員145名	つくば中央警察署	

学園名	学校名	①日程	②内容	③参加者	④講師等	⑤備考
高崎学園	高崎中学校 荊崎第一小学校	2022年4月	取組名：避難訓練（火災） 取組の説明：理科室より火災が発生した想定で避難訓練を行う。避難経路の確認をする。	荊崎第一小 児童547名 職員40名	なし	
		2022年6月	取組名：学園合同引き渡し訓練 取組の説明：大規模災害(地震)を想定した、学園内の幼小中合同の引き渡し訓練の実施する。	幼児、児童547名 保護者 約450名 職員35名	なし	
		2022年9月（予定）	取組名：シェイクアウト訓練 取組名：防災マップづくり 取組の説明：防災マップづくりを通して、防災に対する意識の高揚を図る。	荊崎第一小 教職員・児童 約600名 荊崎第一小 第5学年 児童100名	なし	
		2022年9月（予定）	取組名：避難訓練（火災） 取組の説明：理科室から火災発生を想定し、避難訓練を行う。つくば市南消防署荊崎分署署員のご指導をいただく。	荊崎第一小 児童547名 職員32名	南消防署 荊崎分署	
		2022年9月（予定）	取組名：避難訓練（不審者） 取組の説明：不審者が敷地内に侵入した想定で避難訓練を行う。警察署から講師を招き、防犯教室を行う。	荊崎第一小学校児童 全職員 約620名	つくば市警察署 学校安全サポーター	
		2023年2月（予定）	取組名：高崎学園防災連絡会議 取組の説明：今年度の避難訓練の検証と、防災に関する情報交換や高崎地区家庭用掲示物に関する意見交換・防災倉庫点検	各学校防災会議委員、PTA代表、区長及び民生委員の代表、地域の防災担当者、荊崎交番、消防署員等 約30名	なし	

令和4年度 学校防災実施計画書(学校単位の取組)

資料8

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
大曾根小学校	2022年4月	避難訓練(引渡し訓練を含まない)	全校生徒	
	2022年5月	引き渡し訓練	教職員・全校生徒・地域の方々	
	2022年5月	学校防災会議	教職員・地域の方々	
	2022年6月	教職員研修(AED)	教職員	
	2022年8月	学区防災会議	教職員・地域の方々	
	2022年9月	避難訓練(引渡し訓練を含まない)	全校生徒	
	2023年1月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
	2023年2月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
前野小学校	2022年4月	その他の学校防災に係る取組	教職員・全校生徒	避難訓練
	2022年5月	その他の学校防災に係る取組	教職員・全校生徒・地域の方々	学園合同引き渡し訓練、地域連携学校防災連絡会
	2022年6月	防災教室	3年生	つくばスタイル科 防災バック作成
	2022年7月	防災教室	5年生	つくばスタイル科 防災マップ作成
	2022年8月	その他の研修、講話等	教職員・地域の方々	学園防災会議
	2022年9月	学校防災手帳作成	5年生	つくばスタイル科
	2022年9月	その他の学校防災に係る取組	教職員・全校生徒	Jアラート訓練、シェイクアウト訓練
	2023年1月	その他の学校防災に係る取組	教職員・全校生徒	避難訓練

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
要小学校	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2022年5月	その他の学校防災に係る取組	教職員・全校生徒・地域の方々	避難訓練（引渡し訓練）及び第1回地域防災連絡会の実施
	2022年7月	教職員研修	教職員	AED研修
	2022年8月	その他の学校防災に係る取組	教職員・地域の方々	学園地域防災会議
吉沼小学校	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2022年7月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2022年11月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
沼崎小学校	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2022年7月	学校防災手帳作成	1年生	
	2022年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2022年10月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
	2022年11月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
	2022年12月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
今鹿島小学校	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2022年6月	その他の学校防災に係る取組	その他	避難訓練＋引き渡し訓練
	2022年11月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
上郷小学校	2022年4月	その他の学校防災に係る取組	教職員・全校生徒・地域の方々	引き渡し訓練
	2022年9月	その他の学校防災に係る取組	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
	2022年11月	防災教室	6年生	
谷田部小学校	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2022年5月	つくばスタイル科以外での防災に係る授業	教職員・全校生徒	引き渡し訓練
	2022年6月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
	2022年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第2回
	2023年1月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第3回
谷田部南小学校	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	避難場所、避難経路の確認
	2022年6月	避難訓練（引渡し訓練を含む）	教職員・全校生徒・保護者	非常時の引渡し訓練
	2022年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練、地震対応
	2022年9月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	防災バックの作成
	2022年10月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	防災マップの作成
	2022年11月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	火災対応
	2023年2月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	不審者対応

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
真瀬小学校	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	火災を想定した避難訓練
	2022年6月	避難訓練（引渡し訓練を含む）	教職員・全校生徒・地域の方々	災害時を想定した引き渡し訓練 学園共通で実施
	2022年7月	つくばスタイル科以外での防災に係る授業	教職員・全校生徒	マイタイムライン講座
	2022年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
	2022年12月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒・地域の方々	不審者侵入を想定した避難訓練
	2023年1月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	火災を想定した避難訓練
島名小学校	2022年5月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	全校児童	第1回
	2022年6月	避難訓練（引渡し訓練）	異学年交流	1・2年生のみ実施
	2022年10月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	全校児童	第2回
	2022年12月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3・4年生	講師 国土技術政策総合研究所 長屋 和宏様 招聘予定
	2023年1月	その他の研修、講話等	教職員・地域の方々	地域防災連絡会議 講師 未定

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
葛城小学校	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第1回地震避難訓練（各学年経路確認を含む）
	2022年5月	その他の学校防災に係る取組	教職員・全校生徒・地域の方々	光輝学園引き渡し訓練（地震避難訓練含む）
	2022年7月	その他の学校防災に係る取組	教職員・全校生徒・地域の方々	光輝学園第1回学校防災連絡会議
	2022年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
	2022年10月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
	2022年11月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
	2022年11月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第2回火災・竜巻避難訓練
	2022年12月	その他の学校防災に係る取組	教職員・全校生徒・地域の方々	光輝学園第2回学校防災連絡会議
	2023年1月	防災教室	地域の方々	4年生対象、葛城版コミュニティ・スクール、保護者
	2023年1月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第3回不審者避難訓練
柳橋小学校	2022年5月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	地震に対する避難訓練
	2022年6月	学校防災手帳作成	5年生	つくばスタイル科 防災マップ作成として
	2022年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	不審者に対する避難訓練
	2023年1月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	火災に対する避難訓練
	2023年2月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
小野川小学校	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2022年7月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
	2022年7月	教職員研修	教職員・地域の方々	原子力災害に係る研修
	2022年7月	防災教室	4年生	原子力災害に係る学習
	2022年9月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
	2022年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2023年1月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
手代木南小学校	2022年5月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第1回
	2022年5月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒・地域の方々	第2回
	2022年11月	教職員研修	教職員	内容検討中
	2023年1月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第3回
	2023年2月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
	2023年2月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
	2023年2月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第4回

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
松代小学校	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2022年5月	その他の学校防災に係る取組	その他	引き渡し避難訓練
	2022年7月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	講師：警察官
	2022年7月	その他の研修、講話等	教職員・地域の方々	学園防災会議
	2022年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
	2022年9月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
	2022年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	竜巻
	2022年11月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	無告知地震避難訓練
	2022年12月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	火災
	2023年2月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
二の宮小学校	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第1回（火災想定）
	2022年7月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	作成後、家で保管・使用
	2022年9月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	夏休み中に各自で調査し、夏休み明けにまとめる。
	2023年1月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第3回（不審者対応） ※第2回は学園での引き渡し訓練

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
栄小学校	2022年5月	その他の学校防災に係る取組	教職員・全校生徒・地域の方々	学園引き渡し訓練
	2022年5月	その他の研修、講話等	教職員・地域の方々	地域防災連絡会議
	2022年6月	教職員研修	教職員	学園救命救急講習
	2022年7月	つくばスタイル科（その他の授業・取組）	5年生	マイタイムラインを使った授業 県事業との連携
	2022年8月	その他の研修、講話等	教職員・地域の方々	地域防災連絡会議
	2022年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	全校生徒	避難訓練
	2022年11月	つくばスタイル科以外での防災に係る授業	3年生	防災交流学习
	2023年1月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	全校生徒	避難訓練
九重小学校	2022年6月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第1回
	2022年9月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	異学年交流	
	2022年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第2回
	2022年10月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
	2023年1月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第3回

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
桜南小学校	2022年6月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2022年8月	教職員研修	教職員	
	2022年9月	つくばスタイル科 防災マップ作成	6年生	
	2022年12月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2023年1月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	4年生	
栗原小学校	2022年4月	教職員研修	教職員	防災計画・対応マニュアルの確認、
	2022年6月	教職員研修	教職員・地域の方々	AED活用研修等
	2022年6月	その他の学校防災に係る取組	教職員・地域の方々	通学路点検
	2022年6月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	不審者対応
	日程不明	学校防災手帳作成	5年生	つくばスタイル科
	2022年10月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	竜巻等対応
	2022年11月	防災教室	5年生	つくばスタイル科

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
竹園東小学校	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2022年6月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
	2022年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2022年9月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
	2023年2月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
竹園西小学校	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第1回
	2022年10月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第2回
	2022年10月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
	2022年11月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
	2022年11月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第3回

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
並木小学校	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第1回
	2022年5月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第2回
	2022年6月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第3回
	2022年6月	その他の学校防災に係る取組	教職員・全校生徒・地域の方々	引き渡し訓練
	2022年7月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第4回
	2022年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第5回
	2022年9月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
	2022年10月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第6回
	2022年11月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第7回
	2022年12月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
	2022年12月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第8回
	2023年1月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第9回
	2023年2月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第10回
	2023年3月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第11回

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
吾妻小学校	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	全校生徒	避難経路確認
	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	全校生徒	火事を想定した避難訓練
	2022年7月	学校防災手帳作成	1年生	専門家による防災手帳、防災マップの講義
	2022年9月	つくばスタイル科（その他の授業・取組）	全校生徒	シェイクアウト訓練
	2023年1月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	全校生徒	不審者を想定した避難訓練
茎崎第一小学校	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第1回 避難経路の確認 火災想定
	2022年6月	その他の学校防災に係る取組	教職員・全校生徒・地域の方々	学園幼小中引き渡し訓練 地震・火災想定
	2022年7月	その他の学校防災に係る取組	教職員・地域の方々	学区内通学路危険箇所点検
	2022年8月	教職員研修	教職員	学校防災に関する校内研修
	2022年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第2回 シェイクアウト訓練
	2022年10月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
	2022年11月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
	2023年1月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第3回 不審人物侵入
茎崎第二小学校	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	火災
	2022年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	地震
	2022年9月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
	2022年10月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
	2023年1月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	不審者

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
荃崎第三小学校	2022年4月	教職員研修	教職員	危機管理マニュアルの確認等
	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	避難経路の確認
	2022年6月	その他の学校防災に係る取組	教職員・全校生徒・地域の方々	学園合同引き渡し訓練
	2022年9月	その他の学校防災に係る取組	教職員・地域の方々	学園防災連絡会議
	2022年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
	2022年11月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
	2022年12月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	不審者対応避難訓練
	2023年1月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
	2023年1月	防災教室	その他	3年生 講師招聘
東小学校	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2022年6月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2022年7月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
	2022年7月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
	2022年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2022年9月	地域との連携による東小学区防災会議	教職員・地域の方々	
	2023年2月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
大穂中学校	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	地震発生における避難訓練の実施
	2022年7月	教職員研修	教職員	救急救命オンライン研修会（AED操作、人工呼吸、等）の実施
	2022年9月	PTA・学校サポーター組織の学校防災に係る取組	教職員・地域の方々	大地震等発生時の学校体育館における避難所の開設について
	2022年10月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	火災発生における避難訓練の実施
豊里中学校	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第1回豊里消防署
	2022年7月	防災教室	全校生徒	安全委員会
	2022年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第2回シェイクアウト訓練
	2022年9月	防災教室	全校生徒	竜巻、ミサイル対応、体育祭の練習時に口頭確認
	2022年11月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第3回つくば中央警察生活安全課
	2022年11月	つくばスタイル科（その他の授業・取組）	8年生	避難所で私たちにできることは

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
谷田部中学校	2022年5月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2022年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2023年1月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
高山中学校	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	全校生徒	
	2022年6月	その他の学校防災に係る取組	その他	
	2022年12月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	全校生徒	
	2023年2月	その他の学校防災に係る取組	教職員	
手代木中学校	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	全校生徒	避難経路確認、避難訓練の心構えについて
	2022年11月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	シェイクアウト
	2022年12月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	不審者対応
桜中学校	2022年5月	その他の学校防災に係る取組	教職員・全校生徒・地域の方々	避難訓練（引き渡し訓練） 第1回
	2022年6月	つくばスタイル科（その他の授業・取組）	9年生	避難所設営
	2022年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第2回
	2023年1月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第3回

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
谷田部東中学校	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第1回（地震を想定）
	2022年5月	つくばスタイル科（その他の授業・取組）	8年生	防災に関する学習、まとめたことをグループ内で発表、等
	2022年6月	引き渡し訓練	教職員・生徒・保護者等	洞峰学園小中学校、近隣幼稚園合同（地震を想定）
	2022年6月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒・地域の方々	第2回（不審者侵入を想定） 警察の協力
	2022年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第3回（竜巻を想定）
	2022年10月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第4回（火災を想定）
並木中学校	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2022年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
	2022年9月	つくばスタイル科（その他の授業・取組）	8年生	
	2023年1月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
吾妻中学校	2022年5月	つくばスタイル科 講話等の聴講	8年生	学校避難所開設シミュレーション（講師：国土交通省国土技術政策総合研究所道路地震防災研究室 長屋和宏様）
	2022年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	火災想定訓練
	2022年11月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	地震想定訓練（シェイクアウト訓練）

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
荃崎中学校	2022年5月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第1回（火災）
高崎中学校	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	避難訓練 火災
	2022年12月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	避難訓練 不審者
竹園東中学校	2022年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
	2022年10月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	竜巻を想定した訓練
	2022年10月	教職員研修	教職員	防災・避難訓練についての研修
	2023年2月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	全校生徒	不審者を想定した避難訓練（学年別に学活等で実施）
春日学園義務教育学校	2022年9月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
	2022年10月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
	2022年10月	つくばスタイル科 防災マップ作成	8年生	
	2022年10月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
	2023年1月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	

学校名	日程	取組	対象者・対象学年	備考
学園の森義務教育学校	2022年4月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第1回避難訓練
	2022年5月	避難訓練（引渡し訓練）	教職員・全校生徒・地域の方々	第2回避難訓練
	2022年7月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	7月～9月にかけて
	2022年9月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	9月～11月にかけて
	2022年11月	つくばスタイル科（その他の授業・取組）	8年生	避難所で私たちにできることは
	2022年12月	避難訓練（引渡し訓練を含まない）	教職員・全校生徒	第3回避難訓練
秀峰筑波義務教育学校	2022年9月	つくばスタイル科（防災マップ作製）	5年生	
みどりの学園義務教育学校	2022年4月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
	2022年4月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	

つくば市学校防災手帳作成の概要について

1 目的

携帯できる防災手帳を児童・生徒に提供し、日常生活や授業に活用してもらうことで、児童・生徒及び保護者の自助・共助の意識の向上に資する。

2 事業概要

ハザードマップ等の行政機関が発行している情報と、つくばスタイル科の防災単元での児童の学習成果を組み合わせ、携帯できる防災手帳を作成するもの。

今年度の作成校は栗原小学校、柳橋小学校、前野小学校、学園の森義務教育学校の4校。

・参考：これまでの作成校

平成30年度：大曾根小学校、葛城小学校、春日学園義務教育学校

令和元年度：荃崎学園（第二小・第三小）、栄小学校、竹園東小学校

令和2年度：上郷小学校、東小学校、竹園西小学校（竹園学園版として再編集）

令和3年度：谷田部小学校、沼崎小学校、桜並木学園（並木小学校、桜南小学校）

3 学校に依頼する事項

- (1) データ収集に係る連絡調整
- (2) 作成・配布するに当たり、授業時間の使用

4 その他

- (1) 国土交通省国土政策総合研究所の協力の下、作成。
- (2) 表面は、吾妻学園防災手帳を基に作成（編集協力：吾妻学園おやじの会）。
- (3) 裏面の情報は、つくば市総合防災ブック等を参考に作成。
- (4) 110番の家は、各学校へ照会をかけ、PTA等作成のデータを活用。
- (5) つくばスタイル科における防災の単元での学習成果を基に作成。
- (6) AEDは、「茨城県AED設置施設登録制度」に登録してある施設を掲載。

会 議 録

会議の名称		令和4年度（2022年度）第2回つくば市学校防災推進委員会	
開催日時		令和5年（2023年）2月22日（水曜日） 開会15：30 閉会16：45	
開催場所		会議室203	
事務局（担当課）		教育総務課、学び推進課	
出席者	委員	吉沼正美副会長、栗山賢司副会長、飯泉法男委員、久保田靖彦委員、中野真粧美委員、小島健委員、水橋光一委員、荒澤浩俊委員、吉田和敏委員、笹本昌伸委員、下田裕久委員、柳町優子委員、鈴木聡委員、石橋充委員、登坂美彦委員（危機管理課長代理出席）岡野正人委員（学び推進課長代理出席）	
	その他	長屋和宏	
	事務局	教育総務課：課長補佐 山岡めぐみ、係長 青木孝之、主任 谷沢潤一郎、主任 佐藤大樹	
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数 0名
非公開の場合はその理由			
議題		(1) 令和4年度（2022年度）の学校防災事業の実施内容について	
会議録署名人		確定年月日	平成 年 月 日
会議次第	(1) 令和4年度（2022年度）の学校防災事業の実施内容について		

＜審議内容＞

1 開会

事務局（山岡課長補佐）：ただいまから、令和4年度第2回つくば市学校防災推進委員会を開会いたします。会長である教育長が公務で欠席のため、副会長である教育局長から御挨拶申し上げます。

2 副会長挨拶

局長：皆さんこんにちは。お話がありました通り、教育長が公務のため、代わりまして御挨拶をさせていただければと思います。本日はお忙しい中、皆様には令和4年度第2回つくば市学校防災推進委員会にお集まりをいただきまして誠にありがとうございます。最近の状況では、皆さんご存知のように2月6日にトルコ、シリアで、犠牲者が出る甚大な被害だと聞いております。現地では今もなお懸命な救助活動が続いているという状況でございます。昨年3月に福島県と宮城県で震度6強と観測する地震が、7月から8月にかけては、東北地方で豪雨災害が発生するなど住民の方が避難生活を余儀なくされるような災害が発生しております。こうしたことを踏まえて、いつ起こるかわからない災害に対して、発災時に適切に対応できるよう、平時から学校での防災に係る取組が重要だと考えております。本日の会議は、これら各学校の取組や学校防災推進委員会の事業であります学校防災手帳作成事業等について事務局からの説明や報告があらうかと思っております。会議終了後は、会議録を作成し、各学校に展開しまして、防災意識のさらなる向上を図りたいと考えておりますので、委員の皆様におかれましては、忌憚のない御意見等をいただければと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

3 議事

事務局（山岡課長補佐）：それでは議事に移ります。つくば市学校防災推進委員会設置要綱第3条第1項及び第2項に基づきまして、これからの議事進行は副会長である局長をお願いいたします。

副会長：それでは次第の議事 1、令和 4 年度の事業報告について、まずは事務局の方から説明をお願いいたします。

事務局（谷沢主任）：事務局を務めます、教育総務課谷沢と申します。着座のまま失礼いたします。本日はよろしくをお願いいたします。こちらの取組について、大きく二つに分けて説明いたします。一つ目については、この推進委員会での取組の報告となります。資料 1、令和 4 年度の事業報告を御覧ください。大きな取組として、①番の学校防災推進委員会があります。こちらは年度内 2 回の開催となりまして、第 1 回では昨年度の事業内容と、令和 4 年度の事業計画について、第 2 回の学校防災推進委員会が本日の会議となりまして、令和 4 年度の取組内容の事業報告となっております。続きまして、②番、12 月に開催しました学校防災研修会の報告です。こちらは国立研究開発法人防災科学技術研究所 池田真幸様による講演がございまして、オンライン形式で学校関係者や地域の方々、77 名の方に御参加いただきました。参加者からもとても有意義な講演であったと報告をいただいております。続きまして、③番、学校防災手帳の作成です。机上にお示しをしましたとおり資料がございまして、学習帳をモチーフにした携帯できる地図を作成することで、児童生徒の防災意識の向上に資する目的で作成しております。こちらについては資料 2 に概要がございまして、こちらを併せて御覧ください。資料 2 の説明をさせていただきます。作成の目的として、携帯できる防災手帳を児童生徒に提供し、日常生活や授業に活用してもらうことで防災意識の向上に資する、というものでございまして、調べてきたまち探検の学習成果を行政の情報と組み合わせております。地図面を御覧いただきますと、学区の地図とコンビニや AED の情報、またカンガルーのようなマークがございまして、こちらの方が地域の 110 番の家のマークです。ブロック塀のマークがございまして、こちらは児童が調べてきたブロック塀の情報になります。裏面の情報面につきましては、大人の方、保護者の方にも向けた内容になっておりまして、こちらは行政等の情報を基にした防災の情報、タイムライン等を記入する欄があります。防災情

報の面と地図面とを御覧いただくことで、子供たちにとっても、保護者の方にとっても役立つものができればということで作成しております。

今年度の作成校ですが、学園の森義務教育学校、栗原小学校、前野小学校、柳橋小学校の4校です。

こちらに関しては、年度当初に作成希望校として希望を出していただいた中から、特に桜川沿いの水害等のリスクを考慮しまして、地域要件を考慮して学校の選定をしております。これまでの作成校は、平成30年度に大曾根小学校、葛城小学校、春日学園義務教育学校、令和元年度には荃崎学園（荃崎第二小、荃崎第三小学校の学区）、栄小学校、竹園東小学校を、令和2年度に上郷小学校、東小学校、竹園西小学校、こちらは前年度の竹園東小学校と合わせまして、竹園学園版として改めて編集しております。令和3年度が谷田部小学校、沼崎小学校、桜並木学園、こちらが並木小学校と桜南小学校で二つの学校を合わせて作成しております。国土交通省国土技術政策総合研究所の長屋先生の御協力をいただきながら策定をしております。防災手帳の大元の取組として、吾妻学園で取り組まれていた防災手帳という取組がございまして、市の取組として水平展開したものになります。裏面の防災情報については、行政機関の情報をもとに作成しております。そして110番の家については、各校に照会をして、PTA等の情報を活用しております。AEDについては、県の登録制度に登録してある施設を掲載しております。

それでは、推進委員会の取組として、その他の取組に参ります。その他の取組として、まず防災訓練の視察が挙げられます。こちらは各校で行われている防災訓練で、参加された青木係長より説明いたします。

事務局（青木係長）：着座にて説明をいたします。1月20日に教育局の久保田次長と、教育総務課の青木とで小野川小学校の避難訓練の視察に伺いました。そちらの事業報告にもありますように、地震に続き、理科室から火災が発生するという想定のもとに、避難訓練が実施されたところです。その後に行われました消火器体験では、代表の子供たちが消防署員と一緒に、模擬の消火活動を行ってお

りました。それから煙体験では、実際に煙が充満したテントの中を移動するのですが、前後左右の感覚が全くなくなってしまう、自分がどの方向に進んでいいのかというのが分からなくなってしまう。そして、そこに長くおりますと、息苦しさも感じるような体験ができました。児童たちも、煙の中に取り残されたらどのような状況になってしまうのかということ、実際の煙の怖さというのを実体験として感じていました。そのような体験もありながら、時間としては60分ほどの訓練でしたが、大変有意義な防災訓練であると感じましたし、このような本格的な訓練が学校で実施されているということは、防災意識の向上にとっても役立っていると感じました。

事務局（谷沢主任）：ありがとうございます。続きまして、その他の欄にございます、水害VR体験事業の紹介について説明いたします。こちらは国立研究開発法人土木研究所が、中高生年代の防災意識の向上を目的に水害のVRを開発しまして、VRというのは仮想現実ということでゴーグルを付けて水が溜まる様子などが映るというものですが、こちらを中高生年代が体験するために開発したということで体験する学校を探しており、教育局が各校に周知したところ、谷田部東中学校、学園の森義務教育学校、手代木中学校の科学部がこちらの取組に参加しまして、防災意識向上のきっかけになったという事業でございます。こちらについても、防災意識の向上に資するというで紹介させていただきました。推進委員会の取組としては以上となります。

副会長：ありがとうございました。事業報告ということで資料が4種類ありましたので、最初に資料1と資料2について事務局より説明をいただきました。資料1と2についてのところで御意見等ございましたらお願いしたいと思います。よろしいですか。また後でも御意見をいただく機会もありますので、改めてまとめていただければと思いますので、もう少し資料の説明を進めさせていただきます。では資料3と4について、引き続き事務局から説明をお願いします。

事務局：それでは続きまして、資料3の取組についてご説明いたします。こちら

資料3は、各学園単位の防災に関する取組となっております。こちらは主に引渡訓練、防災会議というもので、学園の単位合同で行っております。まず大穂学園ですが、こちらは5月に合同で引渡訓練をしています。2番の豊里学園はこちらも5月に引渡訓練、またそれぞれの学校で、マップ作りも学園の取組として挙げていただいております。続いて3番の輝翔学園ですが、こちらは11月に地域防災連絡会議を開催したということで、危機管理課の職員から危機管理の現状についての説明を受けて災害時の役割分担等を協議したほか、防災倉庫の備蓄品等の確認を行ったと報告をいただいております。4番の高山学園では、引渡訓練を行ったと報告いただいております。続きまして5番の光輝学園ですが、こちらは5月に合同引渡訓練を行い、専門家の方をお呼びして講演を行ったと報告をいただいております。続きまして6番、洞峰学園ですが、こちらは6月に企画をしたものの、荒天のため未実施と報告をいただいております。続きまして7番の桜学園ですが、こちらは5月に合同引渡訓練を行い、8月に講師の先生をお招きして、講話を開催しております。8番の竹園学園では、5月に引渡訓練を行っております。9番の桜並木学園では、1月に学校防災連絡会議を行い、地域の防災対策について考えるという取組で、地域の方々も含めて参加されておられます。10番の吾妻学園では、5月に引き渡し訓練を行い、9月には防災デイキャンプを行ったということで報告をいただいております。こちらは学校を避難所と想定してキャンプを行うという取組で、防災意識の向上を図っております。続きまして11番、荃崎学園ですが、こちらは6月に引渡訓練を行ってそれから9月に防災連絡会議も行っております。こちらにも講師の方を招聘して、防災意識の向上を図ったものです。12番の高崎学園ですが、6月に引渡訓練を行い、2月に防災連絡会議を行っております。防災倉庫等を点検したということです。

義務教育学校については、学校での取組をこちらの資料3に記載しておりますが、4月に避難訓練を行っているとのこと。こちらは地震の訓練であって、7月には竜巻の避難訓練を行っております。あとは1年生のみですが、引渡訓練

を行っているという報告をいただいております。8月にも心肺蘇生に関する教職員研修を行ってまいり、9月にシェイクアウト訓練を、つくばスタイル科以外でも9月に保健体育の中で自然災害に対する危険防止ということで、授業を行ったと報告をいただいております。また防災マップ作りのために講話を聴講して、こちらに本日お越しいただいております、長屋先生に御講話を頂戴したという報告をいただいております。そして、11月には防犯教室指導者講習という研修を、12月にも避難訓練やオンラインの研修をしまして、つくばスタイル科以外の授業に関するマイタイムラインの事業も実施しています。春日学園義務教育学校では5月に引渡訓練を行っており、9月にも避難訓練、こちらはシェイクアウト訓練ですが、この際に竜巻やミサイルについても対策の確認をしています。12月にはつくばスタイル科の方で防災バック、防災マップを作成しまして、1月にも避難訓練を行っているということで報告をいただいております。みどりの学園では7月に横断旗、こちらは児童が道路を横断するときを使う旗の配布をしまして、その際に地域安全対策会議を開催しております。9月には地震を想定した避難訓練、引渡訓練を行っているという報告をいただいております。また、11月と1月にも訓練を行っています。16番の学園の森義務教育学校ですが、こちらは、4月5月に避難訓練、5月の訓練は引渡訓練も含む報告をいただいております。9月にも避難訓練、1月には8年生で、避難所をテーマにした取組をしています。また5年生で講話を聴講したと報告をいただいております。

続いて成果と課題について報告します。

各学園の取組について報告をいただいた際に、今年度の成果と課題について、それぞれの学園から頂戴したものです。まず大穂学園では、専門的な知見からの意見が防災意識を高めることに繋がった、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえて、状態に合わせた避難対策について意識向上を図ることができたと報告をいただいております。また引渡訓練を3年ぶりに実施することができたとも報

告を頂いています。課題としましては、新型コロナウイルス感染症の影響下ということで、3密を避けて規模を縮小して実施することには限界があり、コロナ禍において工夫して避難訓練を実施していますが、的確に行動する能力の育成が重要であると報告をいただいております。豊里学園では、学園全体の事業については新型コロナウイルス感染症の影響ために見送ったという報告をいただいております。なかなかコロナ禍ということで実施することができなかったという報告をいただいておりますが、学園内の会議で、避難所における中学生の役割を再確認できたと報告をいただいております。輝翔学園についても、地域防災連絡会議は地域の関係者の方と学校の関係者で集まる貴重な機会であると、その地域防災連絡会議の中で、区長が集まったことで防災について具体的に話し合われたということが成果に繋がったという報告をいただいております。課題としましては、多くの方に参加していただきたいということで、開催時刻を遅らせて開催するという取組をしましたが、参加率が芳しくなかったとの報告をいただいております。こちらについては周知方法や内容を工夫して参加率を上げていきたいと報告をいただいております。また、場所の準備等で、会場校の負担が大きいということを課題として挙げていただきました。続きまして高山学園ですが、新型コロナウイルス感染症を配慮した実施方法も、学校で定着しつつあるということで、コロナ禍の中でも工夫して実施いただいたことは定着しつつあるという報告をいただきました。課題として、来年度は香取台小学校が新設されますので、情報共有や実践が必要になってくるということです。学園全体での地域防災会議は実施していない状況なので、連携を含めて検討が必要であるというところです。5番の光輝学園ですが、保護者引渡しの連絡についてスクリレシステムを併用して、スムーズに連絡ができたという報告をいただきました。こちらの課題としましては、講師の先生をお招きしてのオンライン開催ですが、その参加者を増やしたいということで、報告を頂戴しております。続きまして洞峰学園でございますが、引渡訓練の計画を立てることを通じて、共通理解を図れたということが成果として挙げられてお

ります。課題としましては、報告の方でもお話をさせていただきましたが、荒天のため未実施だったということで、次年度は予備日を設定して年度内に実施していきたいということでした。続きまして7番、桜学園ですが、講師の先生に防災会議で講話をいただいたことで防災意識向上が図れたと報告がありました。課題としては引渡訓練で、保護者の方がどうしても迎えに来る時間が遅い方もいらっしゃるとの報告を挙げていただいております。8番の竹園学園は基本的に徒歩での来校ということで引渡訓練を行っていただいたとのことでした。実際にどのぐらいの時間がかかったのかを知り、帰宅ルート等を考える良い機会となったということで報告をいただいております。また、道路が寸断した場合、信号が機能しない状況の想定をするなどの投げかけを行い、保護者と児童がそれぞれ災害に対して考えることでより有意義な研修になったと報告をいただいております。課題としましては、実際に災害が発生して引渡を行う場合、保護者の方と長い間連絡がつかないことも考えられること、あるいは避難訓練の時でも、事前の連絡と異なることがあり戸惑う状況があったと、実際に訓練を行っての課題として報告をいただきました。

続きまして9番の桜並木学園でございますが、災害に備えての準備が重要であることを改めて認識したということが成果として挙げられております。災害について、そのときどのようにすれば自分の身を守れるかということをとっさに考えて行動に移せるように、避難訓練に生かしていきたいという報告をいただいております。そして課題については、会議をリモート開催したが、リモート開催のオンラインの経験が浅い方に関しては、参加が難しい状況が見られたという報告を頂戴しています。続きまして10番、吾妻学園でございますが、成果としては防災キャンプについて挙げていただいております。参加者の分散化を図って、コロナ禍でも実施することができたとの報告がありました。5年生はライフラインが途絶えたときに、食材を活用して食事を作る方法をデイキャンプの中で学ぶことができたということで、成果として挙げていただいております。またコロナウイルス

の影響下で防災の行事を縮小した場合に、今後、従前の状態に戻った場合の連携方法について検討していく必要があるという報告をいただいております。11番の荃崎学園では「災害時の避難を考える」ということをテーマに研修を行ったことを成果として挙げられております。避難所の場所取りですとか、或いはその空間等について、改善の準備や検討をしていきたいと報告をいただいております。12番の高崎学園につきましては、今年度は引渡訓練も避難訓練も実施することができたということで、防災マップの作成や、避難所でできることの検討など、災害発生時に自分たちができることについて考えを深めることができたと報告をいただいております。課題としましては、卒業式や高校入試などの行事が重なる年度末に開催するということが、状況を考えながら検討するということが、今年度実施できなかった避難所運営について協議をしていくということで、行事の影響を受けない時期に開催を変更することも検討されていると報告をいただいております。13番の秀峰筑波義務教育学校では、地域連携という観点からの企画や実施がなかなか難しいこと、今後コミュニティスクール化が進むことによって企画しやすくなる部分があるということで、次年度以降の課題としたいとの報告を頂戴しております。14番の春日学園では、避難訓練を行うことで、避難経路の確認、安全な下校を行う訓練となり、保護者との連携もできたことと報告をいただき、課題としましては、避難方法について、教室からの避難方法は児童も理解できたけれども、特別教室や別の場所にいた時に、どのように工夫したらいいのか、予告なしの抜き打ちで避難訓練を行っても自分の身は自分で守ることができるようにすることが課題であると報告をいただいております。15番のみどりの学園では防災事業を中止したと報告をいただいております。課題としましては、やはりコロナ禍で事業実施が非常に困難であったこと、今後も新型コロナウイルスの感染防止対策を図りながら、防災教育の強化推進を図っていきたいということで、報告を頂戴しております。16番の学園の森義務教育学校でございますが、こちらは第1回と第3回は規模を縮小したため第4回を計画したということで、全校生徒が参加

し避難訓練の経験ができたという報告をいただいています。引渡訓練も実施しまして、校舎内で引渡しが可能であったと報告がありました。課題としては、公共機関、消防署や警察の連携はできるけれども、感染症対策をしながら、工夫して防災の対策を実施することが必要であると報告をいただいております。続きまして、資料4になります。各学校単位で防災に関する取組を報告いただいております。

事務局（谷沢主任）：避難訓練等は、各校で水平展開されておりますので、主な取組に絞って挙げさせていただきますと、大穂学園、大穂中学校の方では、教職員研修の中に、救命講習も取り組んでおられるということで、こちらは独自の取組として挙げさせていただきます。同じく大穂学園の要小学校では、竜巻や雷、台風対応の訓練をしているということです。地震や火事については水平展開ですが、竜巻等についても取り組んでいらっしゃるということで、こちらも挙げさせていただきます。竜巻の訓練については、吉沼小学校でも行われております。

大曾根小学校では、今回のトルコ・シリアで発生しました大地震について、防災の意識付けということで改めて防災に関する授業で触れたということでした。実際に海外で起きた災害に絡めながら、防災について再度認識を改めたという報告をいただきましたので、こちらも独自の取組として報告します。

資料4の各学校の取組については以上となりまして、事務局からの報告は以上となります。

副会長：ありがとうございました。ただいま説明があったとおりで、各学園各学校学園合同の引渡訓練や学校単独での訓練や防災連絡会議が開かれていたということで、成果や課題、成果については先ほどの説明のとおりですけれども、課題についても、子供たちが避難所立ち上げに当たって戸惑いがあったり、保護者との事前の連絡、こういったところにもう少し課題があるのかなということが、課題の中にも明記されておりました。もうすでに吾妻学園についてはコミュニティ

スクールについて話合いが進んでおりまして、資料3の成果と課題のところを改めて見ていただきますと、ここに記載もあるのですが、コミュニティスクールの発足に伴い、学園防災会議への統合の検討も始まっているようだといった報告も、今後それぞれの学校にも水平展開していく中で、参考にさせていただければと思います。また、資料のつくりについても資料の3と4、大分重複しているところがありますので、次回はひとつにまとめて説明できるように改良したいと思っております。ただいま事務局から説明がありましたけれど、これについて御意見、御質問も含めて、先ほどのことに戻っても結構ですので、御意見等あればお願いいたします。いかがでしょうか。

栗山委員：春日学園の栗山でございます。今日はありがとうございます。先ほどの資料の中にも大曾根小学校さんの方で、トルコ大地震について、募金活動する予定だと報告がございましたが、現在市内の45校が全て協力してトルコ・シリア支援の募金を展開しているところでございます。生徒会が中心となって中学校、義務教育学校16校を結んだオンライン会議を実施しました。その中でやはりトルコ・シリア支援のために、全体で、全校で一斉に募金活動をすることに大きな意義があるだろうということで、例えば中学校では学園の中の小学校に声をかけようと。そういうことを通して2月28日まで募金を実施する予定でおります。子供たちの中で迷っているのがどこにその募金を送るかというところで、整理ができていません。本来はそこまで整理して募金を始めればよかったのですが、時間が経ってしまうと募金の意識が薄れてしまうので、関心が高いうちに少しでも活動を始めようということで、始めたところでございます。子供たちもいくつか案は出ておりまして、例えばつくば市の子供たちが集めたので、市長さんを通してですか、赤十字やユニセフ等の国際機関に送ればいいのではないかと、送り先は同じかもしれませんが、新聞社に送るのがいいのではないかとという案もあります。新聞社を通じて赤十字やユニセフ等の国際機関に送られるかもしれませんが、支援の輪を広げるということを考えると、新聞社に送ることで新聞に取り上げていた

だき、自分たちの活動を知って、賛同者が1人でも増えて支援の輪が広がればと。あとは大使館に直接届けた方がいいんじゃないかという意見もあります。ただ大使館に届けるときに、例えばトルコとシリアの分配をどうするのかという課題があり、子供たちの間でも整理がついていませんが、合意形成を図った上で届ける予定です。やはり支援の輪を広げるとともに地震防災に対する意識、子供たちにも当事者意識というものが醸成されると思いますので、生徒会を通した横の繋がりができ今後様々な活動が展開されるんじゃないかということで期待をしているところでございます。報告を兼ねて説明させていただきました。

副会長：ありがとうございました。子供たちの取組ということなので、教育局でも、情報共有しながら進めさせていただければと思いましたが、他に御意見などございますか。もし御意見がなければ、長屋先生からも資料をいただいておりますが、長屋先生、御説明いただけますでしょうか。

長屋氏：「学校における受水槽及び高架水槽の設置状況について」の資料の説明をします。

6月の会議でこの会議の位置づけとしてももう少し具体的な取組をしても良いのでは？ということをお願いしました。

その上で、例えば具体的にトイレ用水の確保などについて考えてもよいのでは、と申し上げた所です。作業としては、受水槽などの状況を調べ、水道使用量と比べることで、災害時に学校にどのぐらいとどまることができるかを把握する手立てとなるので、それらを調べてはと申し上げたところです。その後、教育施設課の鈴木課長に協力いただき、調べた結果がこの資料です。皆さんもご存知のとおり、一般家庭では蛇口をひねって水が出てくるのは水道の圧力によって出てくるわけですが、一方、学校は受水槽もしくは高架水槽に一度水を溜めていますので、水槽の状況で変わります。受水槽からは蛇口までは、ポンプ圧送していますから電気が使えなくなると水が出ません。高架水槽からは自然流下、屋上から重力で落ちて来ます。高架水槽自体へはポンプで圧送しています。

災害が発生したときは、水が止まってしまう状況とともに停電の発生によって、その学校は水が使えるかどうかが変わります。そこを把握してみましようというものです。資料の表はそこをまとめたもので、状況としては高架水槽があるかないかで大きく二つに分かれ、災害が発生したときには、電気が供給されているか、水が供給されるかが大きな違いになります。電気が使えて水が来ていれば、当たり前ですが高架水槽の有無にかかわらず、水を使い続けることができます。断水の場合、高架水槽がある時は高架水槽と受水槽にある水が使い続けられます。高架水槽がない場合は受水槽に残された水だけが使えます。一方で電気がなくなったという時については、給水があってもなくても変わりません。高架水槽がある学校では、高架水槽に残った水が使えます。高架水槽がない学校では、停電すると一切水が使えなくなってしまいます。これを踏まえて、各学校の状況がどうかというと、高架水槽の有無は資料の通りです。これにより、災害が起こったとき、電気と水が止まったときにどうなるのかが、それぞれの学校で把握、認識することができます。さらに具体的に残った水がどのくらい使えるかを整理したものが2枚目になります。災害時に、水、電気の供給が止まりあとどのくらい、何日水が使えるかということについては、水槽の大きさと、毎日の水の使用量で決まります。とりあえず、桜南小学校で試算しました。桜南小学校の1日当たりの水道使用量は大体6.8立米になります。桜南小学校には高架水槽は無く、8立米の受水槽があるので、桜南小学校は受水槽の容量と同じくらいの水を1日で使っています。

仮に断水が発生したとして、そういったことはあまりないのですが、受水槽が満水だとしたら、電気が使えれば1日ぐらいは水が使えます。一方で停電してしまうと水は一切使えませんという状況になります。この評価は、先ほど申し上げましたように、高架水槽の有無と、水槽の大きさ、水道使用量より、災害発生時の水が使えない、電気が使えないときを考え、その学校はあとどのくらい水が使えるかということがわかります。それを踏まえどのように水を使っていくか検討が

可能になります。例えば、今のご時世、手洗いは止められないと思いますが、飲み水は家から水筒を持ってきてくださいとお願いすることで、災害時に水を使うことができる期間が延ばせたりします。また、トイレの方はし尿凝固剤を使うことをしないと、手を洗う水すら手に入らなくなってしまうので、そこは確保したい、というようなりスク管理ができるようになります。これを進めると、学校としてやるべきことや、備えるべきことというのがもうちょっと明らかになってくると思います。

副会長：確かに大事なところで、桜南小学校の例をいただきましたけれど、評価が45校揃うと、それぞれに対応や考えなくてはいけないところがあるんだと思いますけれど。危機管理課の方でも何かありますか。防災倉庫等で何か、そのような情報も入れて評価しないといけないのかなと思うのですが、何か情報があれば。

登坂委員：危機管理課登坂と申します。よろしく申し上げます。市内すべての学校に防災倉庫を設置しております。ただ、小学校と中学校の防災倉庫の中身については生徒数も加味しまして、内容や量を変えておりますので、なかなか一概に申し上げにくいところがあります。

長屋先生からいただきました受水槽のお話も、停電するのかもしれないのかによって大分変わってくるというのも良く理解できる場所ですが、限りあるものをどう生かしていくかというのが大事かと思っておりますので、設備の面も含めながら、ソフト面でも防災教育を進めていければと思います。

副会長：他で御意見、ただいまの件でも結構ですのでお願いします。

鈴木委員：今回、長屋先生に資料を提供させていただいていたのですが、こういった資料を作成いただきまして、本当にありがとうございました。資料を見て、私から思うところは、やはり各学校によって特徴があるのかなと。どこの学校も同じではないというところでしょうか。高架水槽がある学校もありますし、ない学校もあります。割と新しい学校は高架水槽を設けずに、ポンプで圧送するという方法が用いられています。受水槽の容量に関しましても、基本的に水を必要以

上に溜めておくと塩素が抜けていってしまいますので、ある程度水が回るようにということで、この容量になっているものと考えております。こういった特徴を踏まえて今後の防災の検討をしていけたらと考えています。

副会長：学校ごとに容量も違いますし、当然事情はあるんだろうということでした。長屋先生から御提案いただいて、桜南小学校の評価をしてくださいましたが、こうした評価は行う必要があるかと思いました。担当課の方で、そのあたりはどう思いますか。担当課と言っても教育局もいろいろありますが、教育施設課としては、例えば自家発電がある学校があったり、学校によって状況はそれぞれ違うと思いますが、今の話を聞いていると各学校の評価が必要かと思えます。評価というと、例えば断水や停電した場合の、各学校で水がどれぐらいまで溜まっているのか、それがどれぐらい持つかという評価で、それは単純計算かもしれませんが、評価は高架水槽があるかどうかで分かれてくると思いますが、長屋先生が試算して下さった評価は数字が分かれば出来そうですが、教育施設課では出来そうですか。

鈴木委員：そうですね、時間があればという面がありますが。

長屋氏：この評価は私が行いましたが、これを今後どうするかは、方向性の整理があると思います。この手の評価をするのであればその後の対応もセットで考えるべきだと思います。今は、とりあえず私が作成した資料の1枚目が重要なことではないかと思えます。2枚目も重要ではありますが、相当の仮定が入っています。もうすこし補足をさせていただくと、危機管理課、教育局長からもお話がありました。この手の話題では、その後の対応がハードの方に行きがちです。例えば、停電してしまうからポンプに発電機が必要となったりしますが、私としては、その方向性のみを望んでこの資料を出したわけではないということだけを申し添えさせていただきます。先ほども申しましたように、今のご時世、手を洗うことができる水の確保は必須だと思います。ということは、水槽に残った水を何も考えずにトイレで流すこととはできないということが分かると思います。そう

したときに、優先順位は何かというソフトを考えるべきかと思います。その時のために子供たちにも備蓄しているし尿凝固剤の使い方を理解しておいてもらったり、先生方にはそのオペレーションを考えたり、が必要だと思います。もちろんハードの整備でより良い対策になる側面もありますが、ソフトもちゃんと考え、ハードとソフトは防災の両輪である、ということを補足させていただきます。

副会長：ありがとうございます。確かにハードの方に突っ込んでいくとその先がありますからね。ただ、現状が分かっていないので現状を知るという意味では、各学校にこのレベルの評価があってもいいのかなと思います。そう思ったので発言させていただきました。またソフト面については、先ほどの資料にもあったように、成果と課題にもありましたが、知識の習得であったり、そのようなことを続けていくしかないのかなというところもあります。今のやりとりを踏まえまして皆さんの御意見があれば伺いたいと思います。いかがでしょうか。

鈴木委員：教育施設課です。先ほどのお話の通り、1枚目でその学校の特徴が、具体的には水がどこに貯められているというのがわかります。あとはどういった状態の時に、水が使える、使えないというのが分かるかと思いますので、そういったことを踏まえて、水の使い方を考えていただくというのものもあるのかなと思いました。受水槽の水も受水槽のバルブをひねれば多少出てくるのかとも思います。そういった水ももしかしたら何かに使えるかもしれないので、残された水、限られた水を、災害時に、どのような形で活用していけるかというのを考えるのも、ひとつあるかなと思いました。

副会長：他に御意見ございますか。いかがでしょう。

飯泉委員：教育局の飯泉です。よろしく申し上げます。確認も含めてということになりますが、各学校に防災倉庫が設置されていますので、その中で様々なものが、飲み水もあれば非常用発電機もあるとは思いますが、各学校も把握はされていると思います。それを非常時にどういうふうに使っていくんだというのが、日頃からの情報共有、各先生方や教育局も含めて、情報共有をしていくというのが

非常に大事なのかなと思います。いざという時に地域の避難所ということで、各学校に防災倉庫があるという位置付けになっていると思いますので、全部が全部学校で使っているのかというと、それはまた違う話だと思います。危機管理課も教育局も含めて、各学校とどこまでどんな風に使っているんだという情報共有を日頃からやっていく、シミュレーションしていくというのが非常に大切なのかなと思います。先ほどから長屋先生のお話にあるように、ソフト面で何をどう使えばいいのか、そういったことも含めて事前のシミュレーションというのが非常に大切なのかなと、皆さんのお話を聞いていて感じました。

副会長：確かにその通りで、先ほど登坂補佐に伝えたのですが、学校でもよく防災倉庫の中を点検していただいているということも先ほどの資料の中にもあったかもしれませんし、このことは防災会議等で触れているとは思いますが、今後も対応していくと良いと思いました。他に御意見はありますか。

鈴木委員：教育施設課です。この表を見て思ったところとしましては、まず断水でない場合、停電になったけれども給水がある場合、この場合ポンプは止まってしまうので学校は使えなくなってしまうんですが、断水でなければ、各家庭の方は、水は使えると思います。ですので学校の水が貴重になってくるのは断水になった時かなと思いますので、断水が発生した場合に、この水をどうやって使っていくかということ何か考えられるといいのかなと思いました。

副会長：ありがとうございます。今の話は高架水槽のあるところの話ですか。

鈴木委員：高架水槽の水ももちろんですけども受水槽の水も、受水槽のバルブをひねれば飲み水には使えないかもしれないですが水が出てくるので、その水の活用もできるのかなと思いました。

副会長：ありがとうございます。今回は前回よりは良い話し合いの場になったのかなと思いますけれど、次回に向けての御意見も含めて何かあればお願いします。

柳町委員：健康教育課です。報告がありまして、学校給食と学校保健を担当している課ですが、給食センターには備蓄としてレトルトカレーを用意してあります。

そういったものの提供の際に、学校では防災の教育であったり、防災を考える機会に充てていただいているのかなと思います。また、学校保健ですが、令和5年度の当初予算で、学校の方に屋外用にAEDを設置する予算を計上させていただいております。屋外に設置することによって使用の幅が広がるかと思っておりますので、ぜひ活用いただければと思っております。ソフトとハードの事業の両方になりますのでよろしくお願ひします。今日はちょうど給食でカレーが出た学校が何校かあると伺っております、ある学校の方がこういった取組は続けていただきたいなという話もされておりました。今日は登坂補佐がいらっしゃって恐縮ですが、危機管理課や他の課とも連携して、防災教育を食事という観点から含めて考えていただける機会になればと考えております。

副会長：今日のようなメンバーで集まれば色々な情報が出てきて、現状把握の観点でできること、できないことの整理ができますね。できないことはあるかもしれませんが、できることが何なのかという辺りも少し出てくるのかなと感じたので、先ほどの評価という中で、そういうこともまとめていければいいかと思ひました。市民活動課長、お願ひします。

荒澤委員：市民活動課の荒澤です。学校には自治会や様々な取組のなかで訪問していると思いますが、水の話がありましたのでひとつだけ、自治会の知恵としてお話しします。先ほど鈴木課長からお話があった通り、学校の水というのはやはり飲み水であったり、いろんな形で貴重な水源として使われている部分だと思ひます。工夫というかたちで、自治会の中で花壇や、色々なお花を管理しているところでは、水道水ではなくて雨水をどこかに溜めて活用して散水している例もあります。あと学校でプランターでお花を管理しているものを逆に地植えに変えて、土の方が保水力が高く、プランターだとどうしても夏場は水がカラカラになるので、お子さんたちが水道から水を使ってということになると、そこで災害が発生するとどうしても限りある水が減ってきます。当然ながら高架水槽を下げたというのは、耐震の問題等があつて高架水槽を下ろしたという事情が各校にあつたと

思うんですね。水を使用するときに工夫する部分というのは、飲み水ではない部分で、学校だとプールなど色々とあると思うのですが、少し工夫すれば水の使用は抑えられる部分もありますので、区会でよくある工夫のお話をさせていただきました。

副会長：ありがとうございました。今の話も学校で活用できるかもしれませんので、会議録を皆さんに水平展開していくなかで見ていただいて、何かきっかけになればと思います。他に御意見ございますか。長屋先生お願いします。

長屋氏：防災手帳の説明を先ほど教育総務課よりいただきましたが、少し補足をさせていただきます。今年度の作成校は、学園の森義務教育学校と栗原小学校と前野小学校と柳橋小学校と紹介がありましたが、栗原小は、桜川の浸水を鑑みてというお話がありました。その観点で補足します。前野小学校と柳橋小学校についても浸水想定を踏まえ、作成対象校として選定しています。昨年度末に茨城県が公表している浸水想定マップが拡充されました。桜川は従前では桜橋から下流のみが県としての浸水想定公表の対象でした。つくば市としてはそれより上は参考情報として公表していましたが、昨年度末に県として正式に公表することになりました。加えて、谷田川についても浸水想定が公表されました。県のホームページで公表されていますが、それを踏まえ、今回の4校のうち3校の栗原小、前野小、柳橋小を選定しています。これは教育長の御意向もあって、浸水リスクの高いところを、ということで選定をした次第です。今回、私は4校全ての学校で防災授業をさせていただきましたが、子供たちも川が近いことはよくよく分かっていて、浸水想定が盛り込まれております。また、もう一つ、資料のその他のところに、データ提供と制作協力について書いてありますが、私としては、最も重要なものが抜けています。子供たちがつくばスタイル科の防災授業で防災マップを作っています。防災手帳の地図には子供たちが作ってくれた情報も盛り込んで作っており、行政機関や大人が作った地図ではなく、子供たちと一緒に作り上げた地図になっているということが大きな特徴です。危機管理課よりご報告いただ

くのが良いと思いますが、学校等で避難場所と書いてあった看板が避難所に変わっています。危機管理課より説明いただけますか。

登坂委員：今年度末までに、つくば市内の避難指定避難所の看板を更新させていただくことになっております。教育局さんとか、各学校さんとかにもお知らせはさせていただいている通りなんですけども。JIS規格を基にした避難所看板が内閣府の方からガイドラインで示されておりますので、それに基づいた更新をする予定です。まだ学校が建設途中であったり、その場合は次年度に回すところもあるんですけども、ほぼ完了する予定でございます。それと学校防災手帳の件で、危機管理課からのお願いですが、先ほど長屋先生からもお話がありました、令和3年3月、谷田川の浸水想定が追加されております。現在も茨城県の方で中小河川、谷田川以外の中小河川、つくば市ですと、西谷田川ですとか花室川などの川で随時シミュレーションを行って、新たなハザードマップを作成して、県が公表していくということになっております。これは県全域になります。

同じような方向で順次公表していくことになっておりますので、今後防災手帳の作成につきましては、ハザードマップの更新もございますので、現年度に作る学校に関しては、一度危機管理課に相談をしていただいた上で作成していただければ、危機管理課としてはありがたいなと思っております。

今年度も確認したんですけども、来年度以降も発表がありますので、まだいつ発表されるか県から具体的な期間は示されておられませんので、優先的に作っていく学校を決める際には、その辺を考慮した方がよろしいかなと思いますので、次年度以降もよろしくお願ひしたいと思ひます。

副会長：確認ですが、浸水想定区域の拡充の話がありましたけど、まだ変わる可能性があるということですか。

登坂委員：はい。国土交通省の管理河川である小貝川や、鬼怒川ですとか利根川とか、国の方でもう1回新たなシミュレーションをした方がいいんじゃないかと

いうお話が出ているそうです。つくば市のハザードマップにも記載されている 72 時間にどれだけの雨の量が降った、48 時間にどれだけの雨の量が降った、という想定雨量を軽く超えるような雨が降っていますので、現実的に今の雨量でそのシミュレーションが正しいかどうかというのも疑問符がついてきている状況です。

副会長：ありがとうございます。ということは先ほど繰り返しになりますが、防災手帳を作る際に配慮するということで承知いたしました。あと長屋先生から 1 点目にあった資料の作りの部分については、事務局の方でも気づいて私の方で申し上げましたが、少しここは改良したいと思っておりますので、その際にはまた御相談をさせていただくということで教育総務課長もよろしいですか。次回に向けては、改良させていただきますので学校にもその旨周知をさせていただきたいと思えます。看板の書き換えの件については情報提供いただきましたので、この会の中では全員で承知をしておきたいと思えます。他に御意見ありますでしょうか。よろしいですか、少し時間も迫って参りましたので、それでは事務局の方から何かあればお願いします。

事務局（谷沢主任）：事務局でございます。今年度も皆様の御協力をいただきまして、学校防災を強化推進することができました。御協力ありがとうございます。このような機会を設けて、様々な取組を行い、学校防災の強化推進に寄与できればと、いろいろな取組を行ってまいりますので、御協力のほどよろしく願い申し上げます。

副会長：ありがとうございました。当初予定した議事についてはここですべて終了したと思えます。議長の職をこれで解かさせていただきますので、御協力ありがとうございました。事務局の方お願いします。

事務局（山岡課長補佐）：皆様のおかげで、今回は充実した会議が開催できたと思えます。ありがとうございました。以上をもちまして、第 2 回つくば市学校防災推進委員会を閉会いたします。本日はお疲れ様でした。

以上

令和4年度（2022年度）第2回つくば市学校防災推進委員会 次第

日 時：令和5年（2023年）2月22日（水）

午後3時30分から

場 所：203会議室

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

(1) 令和4年度（2022年度）の事業報告について

4 閉 会

【資料一覧】

資料1 令和4年度（2022年度）の事業内容（推進委員会）

資料2 学校防災手帳の概要

資料3 令和4年度（2022年度）の事業内容（各学園の取組）

資料4 令和4年度（2022年度）の事業内容（各学校の取組）

○令和 4 年度（2022年度）の事業報告（学校防災推進委員会）

① 第 1 回学校防災推進委員会（令和 4 年 6 月 27 日開催）

内 容：令和 3 年度（2021年度）の事業内容について
令和 4 年度（2022年度）の事業計画について

第 2 回学校防災推進委員会（令和 5 年 2 月 22 日開催）

内 容：令和 4 年度（2022年度）の事業報告

② 学校防災研修会（令和 4 年 12 月 9 日開催）

国立研究開発法人 防災科学技術研究所

池田真幸様による講演

演題 「学校防災について」

参加者 学校関係者 地域の方々等 77名

③ 学校防災手帳作成

学園の森義務教育学校、栗原小学校、前野小学校、柳橋小学校で作成

その他

防災訓練視察（視察場所：小野川小学校）

各学校で行われている防災訓練について委員による視察を行った。

地震や火災を想定した避難訓練で、校庭への避難と消火器の体験、煙中体験車で
の煙が発生する中での避難の体験、消防車の見学を行った。

国立研究開発法人土木研究所 水害VR体験事業の紹介

国立研究開発法人土木研究所が中高生年代の防災意識の向上を目的に開発した
「水害VR」の体験事業を展開するに当たり市内各校に周知し、谷田部東中学校、学
園の森義務教育学校、手代木中学校の科学部が参加した。

※「水害VR」……国立研究開発法人土木研究所が若い世代に防災について関心を持
ってもらうため、水害をVR体験できるシステムを開発したもの。事前にタイムライ
ン（避難などの行動方針）を考え、ゴーグルを装着して映った仮想世界の中でキャ
ラクターを操作して、水害から安全に避難することを目指す。

つくば市学校防災手帳作成の概要について

1 目的

携帯できる防災手帳を児童・生徒に提供し、日常生活や授業に活用してもらうことで、児童・生徒及び保護者の自助・共助の意識の向上に資する。

2 事業概要

ハザードマップ等の行政機関が発行している情報と、つくばスタイル科の防災単元（まち探検等の調べ学習）での児童の学習成果を組み合わせ、携帯できる防災手帳を作成するもの。

3 今年度の作成校

学園の森義務教育学校、栗原小学校、前野小学校、柳橋小学校

4 これまでの作成校

平成 30 年度：大曾根小学校、葛城小学校、春日学園義務教育学校

令和元年度：荃崎学園（第二小・第三小）、栄小学校、竹園東小学校

令和 2 年度：上郷小学校、東小学校、竹園西小学校（竹園学園版として再編集）

令和 3 年度：谷田部小学校、沼崎小学校、

桜並木学園（並木小学校、桜南小学校）

5 その他

(1) 国土交通省国土政策総合研究所の協力の下、作成。

(2) 表面は、吾妻学園防災手帳（平成 26 年初版発行）を基に作成（編集協力：吾妻学園おやじの会）。

(3) 裏面の情報は、つくば市総合防災ブック等を参考に作成。

(4) 110 番の家は、各学校へ照会をかけ、PTA 等作成のデータを活用。

(5) AED は、「茨城県 AED 設置施設登録制度」に登録してある施設を掲載。

学園名	学校名	日程	内容	参加者	講師等
①大穂学園	大穂中学校 大曾根小学校 前野小学校 要小学校 吉沼小学校	令和4年5月	取組名：学園合同引渡訓練 取組の説明：学年内5校同日に大地震が起こったという想定で引渡訓練を実施し、学園の防災意識を高める。	保護者、児童生徒、教職員、各校防災連絡会委員、PTA役員	なし
		令和4年5月	取組名：学校防災連絡会議 取組の説明：学園合同引渡訓練の様子の参観、防災倉庫や避難場所の確認をもとに災害時の避難所設営に関する課題を情報交換する。	各校防災連絡会委員、区長・自治会長、消防団長、学校評議員、警察官（駐在所）、PTA役員	なし
②豊里学園	豊里中学校 沼崎小学校 今鹿島小学校 上郷小学校	令和4年5月	取組名：引渡訓練（上郷小） 取組の説明：大規模災害（地震）を想定した引渡訓練を実施する。	児童・職員・保護者	なし
		令和4年6月	取組名：引渡訓練（今鹿島小） 取組の説明：大規模災害（地震）を想定した引渡訓練を実施する。	児童・職員・保護者	なし
		令和4年11月	取組名：防災マップ作り（沼崎小） 取組の説明：防災マップ等を段階的に作成する	児童・職員	なし
		令和4年11月	取組名：学校防災連絡会議（豊里中） 取組の説明：8年生つくばスタイル科「避難所で私たちにできることは」を考える	生徒・職員	なし
		令和5年2月	取組名：豊里学園学校防災連絡会議 取組の説明：今年度の防災事業に関する振り返りと情報交換口	豊里学園推進委員	なし
③輝翔学園	谷田部中学校 谷田部小学校 谷田部南小学校 柳橋小学校	令和4年11月	取組名：地域防災連絡会議 取組の説明：学園の教職員代表者、区長、PTA関係者が柳橋小学校に集まり、市の担当者から危機管理の現状についての説明を受け、災害時の役割分担等を協議したほか、防災倉庫の備蓄品等の確認を行った。	学園の教職員代表者、区長、PTA関係者、地域防災関係者	つくば市危機管理課 係長 櫻井 亮輔 主査 汐見 優

学園名	学校名	日程	内容	参加者	講師等
④高山学園	高山中学校 真瀬小学校 島名小学校	令和4年4月	取組名：避難訓練 取組の説明：非常災害時の安全な緊急避難の訓練。学校での実践を保護者、地域にも発信し、防災意識の高揚を図る。	高山中学校、真瀬小学校、島名小学校	なし
⑤光輝学園	手代木中学校 葛城小学校 手代木南小学校 松代小学校	令和4年5月	取組名：学園合同引渡訓練 取組の説明：光輝学園と手代木南幼稚園が連携して引渡し訓練を行うことで、学園の児童生徒・園児の安全確保と地域の防災意識の向上及び保護者への引渡し方法を確認する場とする。	手代木中学校、葛城小学校、手代木南小学校、松代小学校、手代木南幼稚園	なし
		令和4年7月	取組名：第1回光輝学園学校防災連絡会議 取組の説明：オンラインで開催し、防災倉庫を動画で紹介したり、防災に係る情報交換を行った。	学校関係者・地域関係者・消防団等	なし
		令和4年11月	取組名：第2回光輝学園学校防災連絡会議 取組の説明：オンライン開催、講話「突然の災害に強い学校・地域を作る」	学校関係者・地域関係者・消防団等	防災科学技術研究所 池田 真幸 様
⑥洞峰学園	谷田部東中学校 小野川小学校 二の宮小学校 東小学校	令和4年6月 (荒天のため未実施)	取組名：洞峰学園合同引渡訓練 取組の説明：学園の小中学校で連携を図りながら、地震を想定した引渡訓練を行う。	教職員・学園全児童生徒・保護者	なし

学園名	学校名	日程	内容	参加者	講師等
⑦桜学園	桜中学校 栄小学校 九重小学校 栗原小学校	令和4年5月	取組名：桜学園合同防災訓練及び児童生徒引渡訓練 取組の説明：地震を想定した学園合同引渡訓練	児童生徒・保護者・教職員	なし
		令和4年5月	取組名：第1回桜学園学校防災連絡会議 取組の説明：規約の確認、活動計画の確認	教職員・PTA関係者	なし
		令和4年8月	第2回桜学園防災会議 取組の説明：防災に係る講話		立教大学 教授 長坂 俊成 様
⑧竹園学園	竹園東中学校 竹園東小学校 竹園西小学校	令和4年5月	取組名：竹園学園合同引渡訓練 取組の説明：学園同時開催。地震を想定して校庭に避難。その後保護者等へ生徒を引渡す。兄弟姉妹がいる家庭は、小学校へ引き取りに行く。	学園児童生徒 教職員、保護者	なし
⑨桜並木学園	並木中学校 並木小学校 桜南小学校	令和5年1月	取組名：桜並木学園地区 学校地域防災連絡会 取組の説明：「地域の防災対策について考える」	桜並木学園教職員、PTA 桜南幼稚園、桜南・並木児童館 桜並木学園地区区長及び民生委員	国土技術政策総合研究所 長屋和宏 様
⑩吾妻学園	吾妻中学校 吾妻小学校	令和4年5月	取組名：小中学校避難訓練、学園引渡訓練 取組の説明：地震・火災を想定した避難訓練を実施。その後、保護者への引渡訓練を小中合同で実施。	児童、生徒、教職員、保護者	なし
		令和4年9月	取組名：防災デイキャンプ 取組の説明：学校を避難所と想定してキャンプを行い、避難所生活の体験と防災学習を行う。（おやじの会主催、希望者参加）	吾妻学園小中学生、保護者、地域有識者	吾妻学園 おやじの会

学園名	学校名	日程	内容	参加者	講師等
⑪ 荃崎学園	荃崎中学校 荃崎第二小学校 荃崎第三小学校	令和4年6月	取組名：地震と火災に対応した小中合同避難訓練 取組の説明：震度7の地震発生と、それに伴う建物倒壊や火災を想定し、学園合同で避難訓練及び引渡訓練を行った。	児童・生徒 教職員 保護者	なし
		令和4年9月	取組名：荃崎学園学校防災連絡会議 取組の説明：講師を招聘し、防災に関する講話や情報交換を行い地域の防災について共通理解を図った。	教職員 保護者 各区長 学校評議員 民生委員 等	防災科学技術研究所 李 泰榮 様 市長公室危機管理課 課長 鬼塚 宏一
⑫ 高崎学園	高崎中学校 高崎第一小学校	令和4年6月	取組名：高崎学園合同引渡訓練 取組の説明：大規模災害(地震)を想定した学園内の幼小中合同の引渡訓練	幼児、児童、生徒 教職員、保護者	なし
		令和5年2月	取組名：高崎学園防災連絡会議 取組の説明：今年度の避難訓練の検証と、防災に関する情報交換や高崎地区家庭用掲示物に関する意見交換・防災倉庫点検	各学校防災会議委員、PTA代表、区長及び民生委員の代表、地域の防災担当者、荃崎交番、消防署員等	なし

学園名	学校名	日程	内容	参加者	講師等
⑬秀峰筑波義務教育学校	秀峰筑波義務教育学校	令和4年4月	教職員研修	教職員	アナフィラキシーショック及びエビペン注射に関する研修
		令和4年4月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	地震
		令和4年7月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒・地域の方々	竜巻 第1学年児童のみ引渡し訓練を実施
		令和4年7月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	

学園名	学校名	日程	内容	参加者	講師等
⑬秀峰筑波義務教育学校	秀峰筑波義務教育学校	令和4年7月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
		令和4年7月	つくばスタイル科 防災マップ作成	6年生	
		令和4年8月	教職員研修	教職員	心肺蘇生に関する研修
		令和4年9月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
		令和4年9月	つくばスタイル科以外での防災に係る授業	8年生	保健体育 自然災害による危険、自然災害による傷害の防止
		令和4年9月	つくばスタイル科 講話等の聴講	6年生	防災マップ作りのためのゲスト ティーチャー 国交省国土技術政策総合研究所 道路地震防災研究室 長屋和宏様

学園名	学校名	日程	内容	参加者	講師等
⑬秀峰筑波義務教育学校	秀峰筑波義務教育学校	令和4年11月	教職員研修	教職員	「防犯教室指導者講習」伝達研修
		令和4年12月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	不審者
		令和4年12月	PTA・学校サポーター組織の学校防災に係る取組	教職員・地域の方々	地震災害と学校防災(オンライン研修)
		令和4年12月	つくばスタイル科以外での防災に係る授業	5年生	水害に関するマイタイムライン講習(県防災危機管理課)

学園名	学校名	日程	内容	参加者	講師等
⑭春日学園義務教育学校	春日学園義務教育学校	令和4年5月	取組名：引渡訓練 取組の説明：大地震が発生したことを想定し、避難方法の確認と保護者への引渡しを行った。	児童・生徒 教職員 保護者	なし
		令和4年9月	避難訓練（引渡訓練を含まない）	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練 竜巻・ミサイル対策時の確認
		令和4年12月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	国交省国土技術政策総合研究所 道路地震防災研究室 長屋和宏 様の授業実施
		令和4年12月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	国交省国土技術政策総合研究所 道路地震防災研究室 長屋和宏 様の授業実施
		令和5年1月	避難訓練（引渡訓練を含まない）	教職員・全校生徒	
⑮みどりの学園義務教育学校	みどりの学園義務教育学校	令和4年7月	PTA・学校サポーター組織の学校防災に係る取組	教職員・地域の方々	横断旗配布
		令和4年7月	取組名：地域安全会議 取組の説明：登下校時の安全の協議 立哨場所、担当者の確認	地域代表者	横断旗配布 谷田部交番職員、 市防犯交通安全課職員
		令和4年9月	その他の学校防災に係る取組	教職員・全校生徒	地震を想定した全校避難訓練の 実施及び保護者への引渡し
		令和4年11月	避難訓練（引渡訓練を含まない）	教職員・全校生徒	動画による緊急地震速報訓練の 実施
		令和5年1月	避難訓練（引渡訓練を含まない）	教職員・全校生徒	火災を想定した避難訓練の実施

学園名	学校名	日程	内容	参加者	講師等
⑯学園の森義務教育学校	学園の森義務教育学校	令和4年4月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	避難訓練 避難経路・場所確認
		令和4年5月	避難訓練	教職員・全校生徒・地域の方々	避難訓練 様々な災害を想定し1～6年のみ保護者への引渡し
		令和4年9月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
		令和4年9月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	9月～11月にかけてつくば市と防災マップの作成を行った。
		令和4年9月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	9月～12月防災バックに必要な物を検討し、考えを共有した。
		令和4年12月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	避難訓練 不審者を想定 つくば警察署生活安全課
		令和5年1月	つくばスタイル科(その他の授業・取組)	8年生	避難所で私たちにできることは！
		令和5年2月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	避難訓練
		令和5年2月	つくばスタイル科 講話等の聴講	5年生	防災講演会 国交省国土技術政策総合研究所道路地震防災研究室 長屋和宏様

令和4年度（2022年度）の事業報告（各学校の取組）

学園名	学校名	日程	取組	対象者・対象学年	実施内容・備考
①大穂学園	大穂中学校	令和4年4月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	避難訓練(大地震発生想定)
		令和4年7月	教職員研修	教職員	オンライン心肺蘇生・AED 教職員研修
		令和4年9月	授業・訓練時以外での防災に係る取組	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
		令和4年11月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	避難訓練 大地震から火災発生想定
	大曽根小学校	令和4年4月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	新学期が始まってすぐに避難訓練を行うことにより、避難経路の確認と身を守るための安全な行動を意識し、適切な行動をとることができた。
		令和4年5月	その他の学校防災に係る取組	教職員・全校生徒・地域の方々	地域防災連絡員の皆様に引渡訓練の様子を参観していただいた後、訓練の内容について振り返りを行った。
		令和4年6月	つくばスタイル科以外での防災に係る授業	6年生	国語「防災ポスターを作ろう」では防災ポスターを作り、防災の意識が高まった。
		令和5年2月	その他の学校防災に係る取組	全校生徒	トルコ大地震について触れ、学級ごとに甚大な震災の状況について触れ、追悼の意を表すとともに、改めて防災意識について認識を深める指導をした。また、JRC委員会を中心に募金活動をする予定。

学園名	学校名	日程	取組	対象者・対象学年	実施内容・備考
①大穂学園	前野小学校	令和4年4月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
		令和4年6月	教職員研修	教職員	AED研修
		令和4年9月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
		令和5年2月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
		令和5年2月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	国土交通省国土技術政策総合研究所と連携した防災マップ作り
	要小学校	令和4年4月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	避難訓練(火災・地震。避難経路確認)
		令和4年7月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	全校生徒	避難訓練(竜巻・雷・台風)防災啓発ビデオ視聴「急な大雨・雷・竜巻から身を守るう」解説編の視聴」
		令和4年7月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	防災倉庫の中身を知り、災害時のための日常の取組や備えについて話し合った。
		令和4年8月	授業・訓練時以外での防災に係る取組	教職員	オンラインによる心肺蘇生。AEDの使い方研修
		令和4年9月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
		令和5年1月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	自分の住んでいる地域の防災マップ作成をする。

学園名	学校名	日程	取組	対象者・対象学年	実施内容・備考
①大穂学園	吉沼小学校	令和4年4月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	地震想定
		令和4年9月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	火災想定
		令和4年11月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	自分の住んでいる地域の防災マップ作成をする。
		令和4年11月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
		令和4年12月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	竜巻想定

学園名	学校名	日程	取組	対象者・対象学年	実施内容・備考
②豊里学園	豊里中学校	令和4年4月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
		令和4年9月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
		令和4年11月	つくばスタイル科(その他の授業・取組)	8年生	
		令和5年2月	教職員研修		
	上郷小学校	令和4年9月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
		令和4年9月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	4年生	
		令和5年1月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	不審者対応
	今鹿島小学校	令和4年4月	避難訓練(引渡し訓練を含まない)	教職員・全校生徒	竜巻・Jアラート対応避難訓練
		令和4年5月	PTA・学校サポーター組織の学校防災に係る取組	その他	通学路安全点検
		令和4年6月	その他の学校防災に係る取組	その他	地震対応避難訓練+引き渡し訓練
		令和4年9月	避難訓練(引渡し訓練を含まない)	教職員・全校生徒	地震対応シェイクアウト訓練
		令和4年10月	つくばスタイル科以外での防災に係る授業	4年生	防災設備・防災倉庫見学
		令和5年1月	避難訓練(引渡し訓練を含まない)	教職員・全校生徒	火災対応避難訓練・通報訓練・消火訓練・講話(市中央消防署豊里分署)

学園名	学校名	日程	取組	対象者・対象学年	実施内容・備考
②豊里学園	沼崎小学校	令和4年4月	避難訓練(引渡し訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
		令和4年9月	避難訓練(引渡し訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
		令和4年10月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
		令和4年11月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
		令和4年12月	避難訓練(引渡し訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
		令和4年12月	教職員研修	教職員	
③輝翔学園	谷田部中学校	令和4年4月	避難訓練(引渡し訓練を含まない)	教職員・全校生徒	火災想定
		令和4年7月	つくばスタイル科(その他の授業・取組)	8年生	防災ハンドブック作成
		令和4年9月	避難訓練(引渡し訓練を含まない)	教職員・全校生徒	地震想定
		令和5年1月	避難訓練(引渡し訓練を含まない)	教職員・全校生徒	不審者想定
	谷田部小学校	令和4年4月	避難訓練(引渡し訓練を含まない)	全校生徒	
		令和4年11月	避難訓練(引渡し訓練を含まない)	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
		令和4年11月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	

学園名	学校名	日程	取組	対象者・対象学年	実施内容・備考
③輝翔学園	谷田部南小学校	令和4年6月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
		令和4年7月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
		令和4年9月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
		令和4年11月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	谷田部幼稚園と合同
		令和5年1月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
	柳橋小学校	令和4年5月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	地震に対する避難訓練
		令和4年9月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	不審者に対する避難訓練
		令和5年1月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	火災に対する避難訓練
		令和5年1月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
		令和5年2月	防災教室	5年生	
		令和5年2月	学校防災手帳作成	5年生	
		令和5年2月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	

学園名	学校名	日程	取組	対象者・対象学年	実施内容・備考
④高山学園	高山中学校	令和4年4月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
		令和5年2月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
	真瀬小学校	令和4年4月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
		令和4年9月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
		令和5年1月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	講師:国交省国土技術政策総合研究所道路地震防災研究室 長屋和宏様
		令和5年1月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	防犯に関する取組
	島名小学校	令和4年5月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
		令和4年12月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
		令和5年1月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	

学園名	学校名	日程	取組	対象者・対象学年	実施内容・備考
⑤光輝学園	手代木中学校	令和4年5月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	地震・火災
		令和4年11月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	地震
	手代木南小学校	令和4年5月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒・地域の方々	学園合同引渡訓練 地震
		令和5年1月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	地震・火災
		令和5年2月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	竜巻
		令和5年2月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
		令和5年2月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	

学園名	学校名	日程	取組	対象者・対象学年	実施内容・備考
⑤光輝学園	松代小学校	令和4年4月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	避難経路確認
		令和4年7月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒・地域の方々	不審者侵入 警察署員の講話および教職員のさすまた使用訓練
		令和4年9月	防災教室	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練・竜巻災害時の避難について
		令和5年1月	PTA・学校サポーター組織の学校防災に係る取組	教職員・全校生徒・地域の方々	避難訓練及び防災教室 防災士講話煙体験
	葛城小学校	令和4年5月	その他の学校防災に係る取組	教職員・全校生徒	地震避難訓練後、引渡訓練
		令和4年7月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
		令和4年9月	その他の学校防災に係る取組	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
		令和4年9月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
		令和4年11月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	火災・竜巻対応
		令和5年1月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	不審者対応
		令和5年1月	防災教室	4年生	葛城版コミュニティ・スクール(防災かまどベンチ) 危機管理課(防災倉庫の物品)
		令和5年2月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	

学園名	学校名	日程	取組	対象者・対象学年	実施内容・備考
⑥洞峰学園	谷田部東中学校	令和4年4月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	地震による避難 避難経路確認
		令和4年5月	つくばスタイル科(その他の授業・取組)	8年生	世界の災害や災害から身を守るための調べ学習・成果発表
		令和4年6月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	その他	不審者対応。教室バリケード作成手順確認。つくば警察署との連携
		令和4年9月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	竜巻による避難 避難経路確認
	小野川小学校	令和4年4月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	火災
		令和4年7月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
		令和4年7月	教職員研修	教職員・地域の方々	放射線に関する教職員研修
		令和4年7月	防災教室	4年生	放射線に関する出前授業
		令和4年9月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
		令和4年9月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	竜巻
		令和5年1月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	地震から火災

学園名	学校名	日程	取組	対象者・対象学年	実施内容・備考
⑥洞峰学園	二の宮小学校	令和4年5月	避難訓練(引渡し訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
		令和4年6月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
		令和4年9月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
		令和5年1月	避難訓練(引渡し訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
	東小学校	令和4年4月	避難訓練(引渡し訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
		令和4年6月	避難訓練(引渡し訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
		令和4年7月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
		令和4年7月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
		令和4年9月	避難訓練(引渡し訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
		令和5年1月	避難訓練(引渡し訓練を含まない)	教職員・全校生徒	

学園名	学校名	日程	取組	対象者・対象学年	実施内容・備考
⑦桜学園	桜中学校	令和4年9月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	火災を想定した避難訓練。避難経路確認。
		令和4年10月	つくばスタイル科(その他の授業・取組)	9年生	避難所レイアウト検討
		令和5年1月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	不審者対応避難訓練
		令和5年1月	つくばスタイル科(その他の授業・取組)	7年生	マイタイムライン作成
	栗原小学校	令和4年4月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	火災を想定した避難訓練 避難経路確認
		令和4年9月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
		令和4年9月	つくばスタイル科(その他の授業・取組)	5年生	水害時のタイムライン作り
		令和4年10月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	竜巻、風水害を想定
		令和4年10月	つくばスタイル科(その他の授業・取組)	全校生徒	竜巻、風水害の被害と対応について動画視聴、指導
		令和4年10月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	国土技術政策総合研究所 長屋 和宏様による指導
		令和4年11月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	7学年との交流
		令和5年2月	学校防災手帳作成	5年生	市の指定事業

学園名	学校名	日程	取組	対象者・対象学年	実施内容・備考
⑦桜学園	九重小学校	令和4年6月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
		令和4年9月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	異学年交流	
		令和4年9月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
		令和4年10月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
		令和5年1月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
	栄小学校	令和4年9月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
		令和4年10月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
		令和4年12月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
		令和5年2月	つくばスタイル科(その他の授業・取組)	5年生	県防災課とのマイタイムライン作成授業
		令和5年2月	つくばスタイル科以外での防災に係る授業	6年生	心肺蘇生法研修

学園名	学校名	日程	取組	対象者・対象学年	実施内容・備考
⑧竹園学園	竹園東中学校	令和4年7月	つくばスタイル科(その他の授業・取組)	8年生	災害時の避難所設営について
		令和4年9月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	避難訓練(地震を想定したシェイクアウト訓練)
		令和4年10月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	避難訓練(竜巻を想定した訓練)
		令和5年2月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	避難訓練(不審者侵入を想定した訓練)
	竹園西小学校	令和4年4月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	地震からの災害想定(経路確認も含む)
		令和4年9月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
		令和4年10月	つくばスタイル科 講話等の聴講	3年生	防災教室
		令和4年11月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	緊急地震速報訓練
		令和4年11月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	不審者対応

学園名	学校名	日程	取組	対象者・対象学年	実施内容・備考
⑧竹園学園	竹園東小学校	令和4年4月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
		令和4年6月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
		令和4年8月	その他の学校防災に係る取組	教職員・地域の方々	令和4年度学校安全総合支援事業 第1回実践委員会
		令和4年9月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
		令和4年10月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
		令和4年12月	その他の学校防災に係る取組	教職員・地域の方々	令和4年度学校安全総合支援事業 第2回実践委員会
		令和5年2月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	

学園名	学校名	日程	取組	対象者・対象学年	実施内容・備考
⑨桜並木学園	並木中学校	令和4年4月	教職員研修	教職員	避難経路確認
		令和4年5月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
		令和4年5月	つくばスタイル科(その他の授業・取組)	8年生	災害時に自分たちができることは！(全4時間)
		令和4年9月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
		令和4年11月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	火災及び地震による避難訓練
		令和5年1月	教職員研修	教職員	救命救急講習
		令和5年2月	つくばスタイル科(その他の授業・取組)	7年生	災害時に自分たちができることはなんだろう！(全6時間)
		令和5年2月	その他の学校防災に係る取組	教職員	防火器具の点検・整備

学園名	学校名	日程	取組	対象者・対象学年	実施内容・備考
⑨桜並木学園	並木小学校	令和4年4月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
		令和4年5月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
		令和4年6月	その他の学校防災に係る取組	教職員・全校生徒・地域の方々	引渡訓練
		令和4年7月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
		令和4年9月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
		令和4年11月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	不審者対応避難訓練
		令和5年1月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
		令和5年1月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	4年生	
		令和5年2月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	火災及び地震による避難訓練
		令和5年3月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練

学園名	学校名	日程	取組	対象者・対象学年	実施内容・備考
⑨桜並木学園	桜南小学校	令和4年6月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	引渡しを想定した避難訓練
		令和4年8月	教職員研修	教職員	災害発生時、学校が避難所となった場合の対応について
		令和4年9月	つくばスタイル科 防災マップ作成	6年生	
		令和4年12月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	不審者対応避難訓練
		令和5年1月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	4年生	
		令和5年2月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	地震及び火災による避難訓練
⑩吾妻学園	吾妻中学校	令和4年5月	その他の研修、講話等	8年生	「防災学習」 国交省国土技術政策総合研究所道路地震防災研究室 長屋和宏様
		令和4年9月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
	吾妻小学校	令和4年7月	つくばスタイル科 防災マップ作成	1年生	「防災マップ作成」 国交省国土技術政策総合研究所道路地震防災研究室 長屋和宏様
		令和4年9月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
		令和4年10月	つくばスタイル科(その他の授業・取組)	5年生	防災デイキャンプ 学校を避難所と想定してサバ飯を作り、避難所生活の体験と防災学習を行う。(おやじの会主催)

学園名	学校名	日程	取組	対象者・対象学年	実施内容・備考
⑪ 荃崎学園	荃崎第二小学校	令和4年4月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	火災
		令和4年9月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	地震
		令和4年11月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
		令和4年12月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	
		令和5年1月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	不審者
	荃崎中学校	令和4年5月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
		令和4年11月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
		令和5年2月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	
	荃崎第三小学校	令和4年4月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	火災時の避難経路確認
		令和4年9月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	シェイクアウト訓練
		令和5年1月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	つくば中央警察署生活安全課、荃崎交番に講師依頼
		令和5年1月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
		令和5年1月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	県防災危機管理課 鈴木様による出前授業

学園名	学校名	日程	取組	対象者・対象学年	実施内容・備考
⑫高崎学園	高崎中学校	令和4年4月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒・地域の方々	火災を想定し、避難経路の確認。茎崎消防署から講師を招き、初期消火訓練の実施。
		令和4年5月	教職員研修	教職員	危機管理マニュアルについて
		令和4年6月	つくばスタイル科(その他の授業・取組)	9年生	避難所で私たちにできることは！
		令和4年7月	つくばスタイル科(その他の授業・取組)	9年生	避難所で私たちにできることは！
		令和4年9月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	竜巻を想定し、教室でバリゲードをつくり避難方法の確認。
		令和4年11月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	授業中に実施時間を告げずにシェイクアウト訓練を実施。地震の際の身の守り方を確認。
		令和4年12月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒・地域の方々	不審者を想定し、避難の方法の確認。つくば警察署から講師を招き、緊急通報や不審者対応について職員の動きを確認。
	茎崎第一小学校	令和4年4月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	地震想定避難訓練を実施。避難場所の確認(校庭)
		令和4年4月	教職員研修	教職員	学校の防犯状態の確認(防犯カメラの位置、敷地内に進入できる場所の確認等)
		令和4年11月	つくばスタイル科 防災バッグ作成	3年生	
		令和4年11月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	教職員・全校生徒	火災想定避難訓練を実施。また茎崎消防署の協力を得て、消火器の使い方および消化訓練を実施
		令和5年1月	避難訓練(引渡訓練を含まない)	3年生	外部講師(防災科学研究所)から天災被害からの防災について学んだ
		令和5年1月	つくばスタイル科 防災マップ作成	5年生	

学校における受水槽及び高架水槽の設置状況について

災害発生時の学校施設の給水状況を把握するため、学校における受水槽及び高架水槽の設置状況を整理。

学校施設では、一般家庭とは異なり、受水槽もしくは高架水槽に一度水を溜めた上で各蛇口に給水がなされている。

各水槽からの給水は、受水槽からは電力を用いたポンプ圧送、高架水槽からは自然流下による。また、高架水槽への貯水にもポンプが使われている。

このため、災害発生時には、断水の発生以外に停電の発生が水の使用に影響を及ぼす。

これらを踏まえ、高架水槽の有無、停電・断水の発生の有無、それぞれのケースを想定し、水の使用の可否を整理すると以下の通りとなる。

商用電源	上水の供給	高架水槽	
		あり	なし
給電	給水	通常使用可	
	断水	高架水槽と受水槽に残された水量が使用可	受水槽に残された水量が使用可
停電	給水	高架水槽に残された水量が使用可	一切の水の使用が不可
	断水	高架水槽に残された水量が使用可	

高架水槽の設置状況は以下の通り。

高架水槽あり

小学校：吉沼、荃崎第一、荃崎第二、荃崎第三、今鹿島、小野川、松代、沼崎、上郷、谷田部南、竹園西、二の宮

中学校：吾妻、高崎、高山、谷田部、谷田部東、豊里

高架水槽なし

小学校：葛城、九重、栗原、桜南、真瀬、前野、大曾根、谷田部、竹園東、島名、東、柳橋、要栄、吾妻、手代木南、並木

中学校：荃崎、桜、大穂、竹園東、手代木、並木

義務教育学校（全て）：みどりの学園、学園の森、秀峰筑波、春日学園

なお、災害発生時、その後どの程度水を使用することができるかは、災害発生時にどの程度の貯水が水槽に残されているに依存するが、満水と仮定した場合については、水槽容量と水道使用量より推定可能。

【桜南小学校での例】

桜南小学校の1日あたりの水道使用量は約 6.8m^3

(年間水道使用量を学校開校日(200日と仮定)で除して推定、プール使用分は除く)

桜南小には、 8m^3 の受水槽があり、高架水槽はない

これより

- ・断水が発生しても、電気が使えれば、1日程度は水が使える。
- ・ただし、停電が発生すると水は使用できない。

これらの評価は、各校の受水槽・高架水槽の設置状況、年間水道使用量より行うことが可能。